

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
2型糖尿病患者における日内血糖変動が関与する新たな動脈硬化形成機構の解明	角野 博之	検査部	1,600,000	補 委	日本学術振興会
AA-PET/CTによる粒子線照射時の生体内実線量分布を画像化する技術を確立する	加藤 弘之	医学生物学部門	1,500,000	補 委	日本学術振興会
Autophagyによる抗原提示を用いた頭頸部癌ワクチン療法の開発	坂倉 浩一	耳鼻咽喉科	500,000	補 委	日本学術振興会
CTOS法を用いた前立腺癌アンドロゲン維持機構の解明とオーダーメイド治療の可能性	新井 誠二	泌尿器科	1,600,000	補 委	日本学術振興会
ICUにおける鎮痛の客観的評価方法の確立-スキンコンダクタンスモニターを用いて	金本 匡史	集中治療部	1,300,000	補 委	日本学術振興会
II型肺胞上皮特異的Elovl6欠損マウス作製による新たな肺気腫進展機序の解明	横山 知行	第二内科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
LH作用の分子メカニズムの解明による新規排卵誘発法の開発	山下 宗一	周産母子センター	1,600,000	補 委	日本学術振興会
NIRSによるreal-world脳機能画像にもとづく精神疾患の生活障害の解明	福田 正人	精神科神経科	2,400,000	補 委	日本学術振興会
PLGA微小気泡による新しい腫瘍特異性超音波造影剤の開発	対馬 義人	核医学科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
RFIDを用いた病院内業務効率化の検討	齋藤 勇一郎	システム統合センター	900,000	補 委	日本学術振興会
SENDAの治療を目指したオートファジー不全と鉄代謝が神経組織に及ぼす機構の解明	村松 一洋	小児科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
TGF- β /Smad3シグナル伝達経路をターゲットとした新創傷治療法の開発	横尾 聡	歯科口腔外科	500,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
Two-person neuroscienceの確立と精神疾患への応用	福田 正人	精神科神経科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
α2アドレナリン受容体作動薬徐放薬を用いた神経障害性疼痛の治療	松岡 宏晃	麻酔科蘇生科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
アスベスト関連腫瘍における新規アクチン結合蛋白質を介した新たな発癌機構の解明	古賀 康彦	第一内科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
アドレノメデュリンの循環作用と麻酔薬－作用機序の解明と敗血症における意義－	黒田 昌孝	麻酔科蘇生科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
新たな遺伝性脊髄小脳変性症SCA36の分子病態解明と治療法開発研究	池田 佳生	神経内科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
アルツハイマー病における脳脊髄液とPiB-PETを用いた認知機能と分子病態の解明	池田 将樹	神経内科	2,000,000	補 委	日本学術振興会
アレルギー病態理解と新規治療法開発に向けたリンパ球刺激試験法の改良	荒川 浩一	小児科	900,000	補 委	日本学術振興会
イノシトール3リン酸レセプターをレドックス制御する新規タンパクの内耳発現形態	高橋 克昌	耳鼻咽喉科	900,000	補 委	日本学術振興会
イリジウム錯体を用いた網膜低酸素病態イメージングの開発	秋山 英雄	眼科	2,000,000	補 委	日本学術振興会
オートファジー関連神経変性疾患の治療法開発に向けたiPS細胞の樹立と病態解明	村松 一洋	小児科	4,000,000	補 委	日本学術振興会
オーバル細胞増殖を介した肝再生・修復における核内受容体CARの役割	山崎 勇一	第一内科	700,000	補 委	日本学術振興会
がんに対する重粒子線治療法高度化の為の基礎的・臨床的研究	中野 隆史	放射線科	2,700,000	補 委	日本学術振興会
グリオーマ好発性トランスジェニックラットの解析	横尾 英明	病理部	4,100,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
グルココルチコイド受容体がアロマターゼ発現に与える影響	堀口 淳	第二外科	1,000,000	補 委 日本学術振興会
チロシン脱リン酸化系シグナル分子の遺伝子改変マウスを用いた腎炎発症機序の解明	野島 美久	第三内科	1,500,000	補 委 日本学術振興会
ドラッグデリバリーシステムを利用した周術期鎮痛法としての徐放薬の作成	鈴木 敏之	麻酔科蘇生科	900,000	補 委 日本学術振興会
ニューロンにおける細胞核構造と遺伝子発現における核ラミナの意義	滝沢 琢己	小児科	3,900,000	補 委 日本学術振興会
ヒト先天性側弯症の原因遺伝子の同定と発症機序の解析	飯塚 伯	整形外科	1,200,000	補 委 日本学術振興会
ボウマン嚢上皮細胞のシグナル伝達経路からみた糸球体障害機序の解析	廣村 桂樹	第三内科	1,200,000	補 委 日本学術振興会
ホルモンのサーカディアンリズム障害に立脚した前立腺癌リスクの解析	柴田 康博	泌尿器科	600,000	補 委 日本学術振興会
マイクロPIXEによるインターフェロン及びリバビリン併用患者の貧血の解明	長嶺 竹明	第一内科	500,000	補 委 日本学術振興会
マイクロPIXEによる骨髄腫細胞における微量元素の動態解明と新規治療薬の開発	村上 博和	第三内科	1,700,000	補 委 日本学術振興会
悪性リンパ腫におけるグルコース代謝の解析と治療への応用	塚本 憲史	腫瘍センター	1,000,000	補 委 日本学術振興会
炎症性腸疾患の病態における核内受容体PXR・CARの役割	柿崎 暁	第一内科	1,200,000	補 委 日本学術振興会
概日時計リズムと選択的スプライシング異常によるメタボリック症候群発症病態の解明	佐藤 哲郎	内分泌内科	1,800,000	補 委 日本学術振興会
顎口腔領域における蛍光血管造影法を用いたナビゲーションサージャリーの確立	宮崎 英隆	歯科口腔外科	400,000	補 委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
肝病態連繫における核内受容体転写共役活性化因子PDIP1の役割	佐藤 賢	光学医療診療部	600,000	補 委	日本学術振興会
癌関連線維芽細胞を標的とした頭頸部癌の新しい治療法の開発	豊田 実	耳鼻咽喉科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
癌抑制遺伝子MEN1の癌抑制機能破綻による膵β細胞腫瘍化機構の全容解明	小澤 厚志	第一内科	1,900,000	補 委	日本学術振興会
気分障害・適応障害における反復経頭蓋磁気刺激法を応用した鑑別診断法の検討	青山 義之	精神科神経科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
去勢抵抗性前立腺癌でのスタチンによる腫瘍内アンドロゲンde novo合成への影響	関根 芳岳	泌尿器科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
虚血に対する内側前庭神経核ニューロンの一過性過分極メカニズム	紫野 正人	耳鼻咽喉科	400,000	補 委	日本学術振興会
筋萎縮性側索硬化症の神経病理学的, 分子遺伝学的検討	藤田 行雄	神経内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
県内全域の一般スポーツ施設にて心臓リハビリテーションを実施する試み	松尾 弥枝	リハビリテーション部	1,900,000	補 委	日本学術振興会
好塩基球細胞株を用いた新規アレルギー検査法の開発	八木 久子	小児科	900,000	補 委	日本学術振興会
抗血管新生療法における新規biomarker検索と分子基盤の解明	藤井 孝明	第一外科	2,100,000	補 委	日本学術振興会
骨格筋における新規糖代謝シグナル伝達機構の解明	齋藤 従道	第一内科	900,000	補 委	日本学術振興会
骨粗鬆症の早期発見を促進するための2項目質問法の開発	大山 良雄	救命・総合医療センター (総合診療)	600,000	補 委	日本学術振興会
細胞形態、糖代謝、微小環境からアプローチする悪性骨軟部腫瘍の転移浸潤制御	柳川 天志	整形外科	500,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
細胞周期制御因子FBXW7を利用したGIST細胞の治療抵抗性克服を目指して	緒方 杏一	第一外科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
子宮頸部腺癌におけるHPV感染と遺伝子異常の検討ー胃型形質との関係を含めてー	佐野 孝昭	病理部	1,400,000	補 委	日本学術振興会
脂肪酸から糖へのエネルギー基質変換が心機能に及ぼす影響とそのメカニズムの解明	磯 達也	第二内科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
次世代シーケンサーを用いた骨髄腫におけるnon-coding RNAの役割解析	半田 寛	第三内科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
治療抵抗性気分障害におけるインスリン抵抗性の病態生理学的影響に関する検討	成田 耕介	精神科神経科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
治療抵抗性腎癌・前立腺癌に対する抗サバイビンおよび重粒子線による治療の基礎的研究	小池 秀和	泌尿器科	900,000	補 委	日本学術振興会
社会脳に着目した認知症への脳活性化リハビリテーションの開発と医療への適応拡大	山口 晴保	神経内科	2,200,000	補 委	日本学術振興会
樹状細胞に発現する細胞質型チロシン脱リン酸化酵素に関する研究	金子 和光	第三内科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
重粒子線がん治療におけるスペーサー手術の評価および新たな手法の開発	清原 浩樹	放射線科	700,000	補 委	日本学術振興会
重粒子線照射に対する細胞応答反応におけるセラミドの関与の解析	河村 英将	放射線科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
重粒子線照射後におけるヒト癌細胞の遊走、浸潤、転移能についての研究	村田 和俊	放射線科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
徐放化鎮痛薬の開発ならびに疼痛治療への応用	戸部 賢	集中治療部	900,000	補 委	日本学術振興会
小児急性骨髄性白血病における網羅的な遺伝子プロファイルの解明	柴 徳生	小児科	1,000,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
小腸虚血再灌流障害に対するRhoキナーゼ阻害薬の効果とメカニズムの解明	竹吉 泉	第二外科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
心臓MRI解析による右室非同期指標と右室多点ペーシングによる右室再同期療法の開発	太田 昌樹	第二内科	1,700,000	補 委	日本学術振興会
心臓におけるグルコース代謝亢進は重症敗血症の心機能と生命予後を改善する	國元 文生	集中治療部	1,300,000	補 委	日本学術振興会
心臓リモデリングとエネルギー基質変換における細胞型特異的TGF β シグナルの役割	小板橋 紀通	第二内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
心肺停止時における血管収縮物質動態に基づいた心肺蘇生法確立に関する実験的研究	大嶋 清宏	救命・総合医療センター(救急)	1,100,000	補 委	日本学術振興会
新規に開発した尿道カテーテルの刺激低減効果に対する無作為化比較対照試験	久保 和宏	麻酔科蘇生科	800,000	補 委	日本学術振興会
新規局所麻酔徐放薬による新たな術後鎮痛法開発	神山 治郎	救命・総合医療センター(救急)	900,000	補 委	日本学術振興会
神経栄養因子シグナルを用いた下行性抑制系の強化による新規慢性痛治療法の開発	須藤 貴史	麻酔科蘇生科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
神経障害性疼痛における下行性抑制系の経時的変化と抗うつ薬の鎮痛効力の比較	中島 邦枝	麻酔科蘇生科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
神経障害性疼痛治療に有効な薬剤の機序解明—下行性抑制系の活性化と薬剤可塑性—	小幡 英章	麻酔科蘇生科	2,600,000	補 委	日本学術振興会
神経性食思不振症に対するオキシトシンの効果—NIRSによる検討—	武井 雄一	精神科神経科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
神経分化因子を用いた神経再生制御による神経障害性疼痛治療方法の開発	関本 研一	麻酔科蘇生科	900,000	補 委	日本学術振興会
神経膠芽腫における放射線誘導HIF-1 α のメカニズムと放射線抵抗性に関する探索	白井 克幸	放射線科	130,411	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
神経膠芽腫幹細胞を標的とした新規放射線治療法の開発	野田 真永	放射線科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
進行非小細胞肺癌におけるxCT(シスチントランスポーター)発現の薬剤耐性機構	解良 恭一	寄附講座・がん治療臨床開発学講座	1,500,000	補 委	日本学術振興会
腎幹細胞の自己複製能と老化メカニズムの解明	前嶋 明人	第三内科	1,700,000	補 委	日本学術振興会
腎性全身性線維症における皮膚線維化、石灰化機序の解明	石川 治	皮膚科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
腎不全患者のむずむず脚症候群(RLS)発症機構の分子生物学的解明と腎毒性物質同定	村松 一洋	小児科	1,900,000	補 委	日本学術振興会
石綿肺早期発見と病態解明をめざすイオンビームを応用した新手法の開発	土橋 邦生	第一内科	2,300,000	補 委	日本学術振興会
脊髄マイクログリアにおいて術後痛の程度を反映する分子生物学的マーカーの同定	三枝 里江	腫瘍センター	1,100,000	補 委	日本学術振興会
潜在性致死性不整脈疾患における遺伝子変異特異的顕性化因子についての検討	中島 忠	第二内科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
前庭小脳興奮回路における一過性虚血に対する脆弱性の解明	高安 幸弘	耳鼻咽喉科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
卒後臨床現場における卒前のチーム医療教育(卒前IPE)の効果の検証	篠崎 博光	産科婦人科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
多階層的疼痛治療開発:ナノ粒子とパワーアシストの臨床応用	齋藤 繁	麻酔科蘇生科	900,000	補 委	日本学術振興会
多層性ロゼットを有する胎児性脳腫瘍の遺伝子解析	信澤 純人	病理部	1,500,000	補 委	日本学術振興会
多発性骨髄腫における塩基除去修復の解析	齋藤 貴之	第三内科	1,200,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
多発性骨髄腫の発症・進展におけるAIDとMMSETの役割	滝沢 牧子	第三内科	300,000	補 委	日本学術振興会
体表面十二誘導心電図による心房粗動回路の推定法の開発	金古 善明	第二内科	800,000	補 委	日本学術振興会
中枢神経系ラブドイド腫瘍の新たな分類と概念の確立	平戸 純子	病理部	1,500,000	補 委	日本学術振興会
鎮静薬長期投与による免疫応答の検討:デクスメトミジンとプロポフォールと比較研究	檜原 創	集中治療部	1,100,000	補 委	日本学術振興会
糖代謝マーカーとして的高密度リポ蛋白質HDLとアポリポ蛋白M	木村 孝穂	検査部	1,500,000	補 委	日本学術振興会
糖尿病の病態における甲状腺ホルモン代謝酵素の病態生理学的意義の解明	村上 正巳	検査部	4,500,000	補 委	日本学術振興会
頭頸部癌への重粒子線治療によるimmunogenic cell deathの検討	近松 一朗	耳鼻咽喉科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
頭頸部扁平上皮癌におけるHPV statusによるX線および重粒子線治療への影響	白井 克幸	放射線科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
内因性鎮痛系における下行性抑制系の役割 -基礎と臨床からのアプローチ-	小幡 英章	麻酔科蘇生科	900,000	補 委	日本学術振興会
難治性機能的脳疾患の病態機序としての視床-皮質律動異常の検証と治療への応用	平戸 政史	脳神経外科	2,400,000	補 委	日本学術振興会
認知症における社会脳機能の新規評価法の開発と臨床応用への挑戦	山口 晴保	神経内科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
脳機能の視覚化による認知行動療法の効果増強:NIRS-CBT研究	小野 樹郎	精神科神経科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
敗血症における中枢神経障害でのRAGEとHMGB-1の関与と治療法の確立	門井 雄司	手術部	1,000,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
肺高血圧症血管平滑筋におけるNotch-TGFbeta-PIAS1経路の解明	小和瀬 桂子	救命・総合医療センター (総合診療)	800,000	補 委	日本学術振興会
肺腺癌におけるKRAS変異によるシグナル伝達系への制御機構の解明と治療応用	砂長 則明	腫瘍センター	2,100,000	補 委	日本学術振興会
皮膚腫瘍におけるヒトパピローマウイルス感染の検討と病変形成メカニズムの解明	清水 晶	皮膚科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝炎におけるマクロファージ遊走阻止因子(MIF)の役割	堀口 昇男	第一内科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
微小転移モデル確立による食道癌の転移メカニズムと各転移過程における細胞動態の解明	宮崎 達也	第一外科	500,000	補 委	日本学術振興会
微小変化型ネフローゼ症候群におけるDNAメチル化を指標とした病態診断法の開発	渡部 登志雄	小児科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
婦人科腫瘍に対する画像誘導小線源治療の確立に向けた基礎的・臨床的研究	大野 達也	重粒子線医学推進機構 重粒子線医学センター	1,900,000	補 委	日本学術振興会
分子シャペロンを用いた糖尿病再生医療戦略	伴野 祥一	第二内科	400,000	補 委	日本学術振興会
分泌蛋白質MFG-E8による機能制御の解明と治療への応用	茂木 精一郎	皮膚科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
放射線治療反応性と関連する遺伝子変異プロファイルの同定	尾池 貴洋	放射線科	900,000	補 委	日本学術振興会
慢性腎臓病におけるアンドロゲン受容体シグナルの重要性	坂入 徹	第三内科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
慢性腎臓病における骨・血管連関の分子メカニズムの解明と心血管リスク予測への応用	倉林 正彦	第二内科	2,800,000	補 委	日本学術振興会
慢性痛の脳をMRIで探索し、メカニズムと予測因子を明らかにする	荻野 祐一	麻酔科蘇生科	1,400,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
慢性疼痛治療の新規分子標的候補であるグリシン受容体α3サブユニットの役割の解明	高澤 知規	麻酔科蘇生科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
未破裂脳動脈瘤のリスクと心理的ストレスによる生活の質低下の定量化	好本 裕平	脳神経外科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
腱板断裂モデルラットにおける棘下筋の代償性筋肥大	高岸 憲二	整形外科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
肺癌細胞での重粒子線治療抵抗性に対するmicroRNAの関与の解析	岡本 雅彦	重粒子線医学推進機構 重粒子線医学センター	1,500,000	補 委	日本学術振興会
バーチャルメガホスピタルの確立による精神疾患・がんの新規診断・治療法の開発	中村 哲也	臨床試験部	70,000,000	補 委	厚生労働省
精神疾患患者の整形外科領域を中心とする合併症に関する研究	高岸 憲二	整形外科	5,700,000	補 委	厚生労働省
南米型トリパノソーマに対する新規治療薬リード化合物の探索	嶋田 淳子	生体情報検査科学	530,400	補 委	独立行政 法人科学 技術振興 機構
虚血性心疾患における心電図同期SPECT(QGS)検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究-4冠血行再建術による心血管イベントリスクの減少効果を負荷心筋血流SPECTを用いた虚血量定量で評価するための調査研究(J-ACCESS IV)	倉林 正彦	循環器内科	21,000	補 委	公益財団 法人循環 器病研究 振興財団
HER2陰性の手術不能又は再発乳癌患者を対象としたペバシズマブとパクリタキセルの併用療法の有用性を検討する観察研究	堀口 淳	乳腺・内分泌外科	50,000	補 委	一般社団 法人 JBCRG
中枢神経における細胞核構造とクロマチンダイナミクスの解析	滝沢 琢己	小児科	4,450,000	補 委	独立行政 法人科学 技術振興 機構
筋委縮性側索硬化症等神経難病患者及び家族に対する療養支援体制の整備と、医療及び地域支援ネットワーク構築に関する研究	池田 佳生	脳神経内科	3,790,000	補 委	群馬県
難病患者及び家族に対する相談体制の整備と支援体制に関する研究	池田 佳生	脳神経内科	7,508,000	補 委	群馬県

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
統合失調症の診断と評価に関する研究	福田 正人	精神科神経科	2,000,000	補 委 独立行政 法人国立 精神・神経 医療研究 センター
自然な状態におけるNIRS検査にもとづく精神疾患の鑑別診断および転帰予測についての研究	福田 正人	精神科神経科	1,000,000	補 委 独立行政 法人国立 精神・神経 医療研究 センター
機能的磁気共鳴画像同時計測による近赤外線分光鏡（NIRS）信号のバイオマーカーとしての有用性の検討	守口 善也	リハビリテーション学	1,100,000	補 委 独立行政 法人国立 精神・神経 医療研究 センター
脳画像を用いた過敏性腸症候群の治療反応予測	守口 善也	リハビリテーション学	900,000	補 委 独立行政 法人国立 精神・神経 医療研究 センター
実用的服薬支援装置の開発と実地実証試験	鈴木 亮二	システム統合センター	585,000	補 委 独立行政 法人科学 技術振興 機構
リンパ系腫瘍・多発性骨髄腫に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	塚本 憲史	腫瘍センター	400,000	補 委 独立行政 法人国立 がん研究 センター
難聴児の社会適応性に関する研究	近松 一朗	耳鼻咽喉科	1,440,000	補 委 群馬県
金属錯体を発光プローブとするヒトの低酸素病態イメージングプロジェクト	秋山 英雄	眼科	2,600,000	補 委 独立行政 法人科学 技術振興 機構
COPD憎悪モデルの作出とGAG分子薬の個体レベルでの薬効評価に関する研究	前野 敏孝	呼吸器・アレルギー内科	2,100,000	補 委 独立行政 法人医薬 基盤研究 所
熱帯熱マラリア原虫エノラーゼを標的とするAD22ペプチドワクチンの非臨床試験	中村 哲也	臨床試験部	1,000,000	補 委 厚生労働 省
StageⅢ結腸癌根治切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験（JFMC47-1202-C3）	桑野 博行	消化管外科	252,000	補 委 公益財団 法人がん 集学的治 療研究財 団
血管平滑筋細胞の形質変換の制御機構の解析	倉林 正彦	循環器内科	1,200,000	補 委 独立行政 法人国立 循環器病 研究セン ター

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
低リスク前立腺癌患者を対象とした低用量クロルマジノン酢酸エステルのアクティブサーベイランス継続率に対する効果を検討する多施設共同、プラセボ対照、無作為化二重盲検群間比較試験	鈴木 和浩	泌尿器科	108,000	補 委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
通所型介護予防事業「ひらめきウォーキング教室」検査・評価・報告業務	山口 晴保	リハビリテーション学	1,000,000	補 委	高崎市
うつ病の異種性に対応したストレス脆弱性バイオマーカーの同定と分子病態生理の解明	福田 正人	精神科神経科	60,524,000	補 委	文部科学省
重粒子線マイクロサージェリーの臨床応用に対する研究開発	中野 隆史	重粒子線医学研究センター	199,225,765	補 委	経済産業省関東経済産業局
ICTを活用した学びの創造と健康を支える環境づくり「ICTしるくプロジェクト」	浅尾 高行	がん治療臨床開発学	11,800,000	補 委	総務省
運動失調症の分子病態解明・治療法開発に関する研究	平井 宏和	神経生理学	1,200,000	補 委	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
運動失調症の分子病態解明・治療法開発に関する研究	池田 佳生	脳神経内科	1,000,000	補 委	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究	石川 治	皮膚科	500,000	補 委	国立大学法人熊本大学
小児白血病におけるバイオマーカーによる早期診断技術の確立と実用化に関する研究	柴 徳生	小児科	2,500,000	補 委	国立大学法人京都大学
小児HBV感染およびHCV感染の調査(群馬地区)	羽鳥 麗子	医療人能力開発センター	500,000	補 委	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立
川崎病の病因・病態解明に基づく新規治療・予防法の開発	荒川 浩一	小児科	1,000,000	補 委	国立大学法人九州大学
小児脳腫瘍に対する多施設共同研究による治療開発	信澤 純人	病態病理学	2,000,000	補 委	大阪市立総合医療センター

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
小児脳腫瘍に対する多施設共同研究による治療開発	平戸 純子	病理部	2,000,000	補 ○委	大阪市立総合医療センター
家族性アルツハイマー病に関する縦断的観察コホート研究	池田 将樹	脳神経内科	1,000,000	補 ○委	大阪市立大学
ヒトiPS細胞由来神経細胞等を用いた新規in vitro医薬品安全性評価法の開発	白尾 智明	神経薬理学	3,000,000	補 ○委	国立医薬品食品衛生研究所
新規キノン誘導体を用いたリーシュマニア症新規治療薬の探索	嶋田 淳子	生体情報検査科学	273,000	補 ○委	独立行政法人科学技術振興機構
トレーサビリティの確保された線源と画像誘導を利用した高線量率小線源治療の標準化と高度化の研究	中野 隆史	放射線科	700,000	補 ○委	独立行政法人国立がん研究センター

計157件

計 856,817,987 円

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等がH26年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記載。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記載。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記載。
- 4 「所属部門」欄の名称は、H26年度時点のもの。

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Kaira K, Arakawa K, Shimizu K, Oriuchi N, Nagamori S, Kanai Y, Oyama T, Takeyoshi I.	先端医療科、臓器病態外科学	Relationship between CD147 and expression of amino acid transporters (LAT1 and ASCT2) in patients with pancreatic cancer.	Am J Transl Res. 2015 Feb 15;7(2):356-63.
2	Imai H, Kaira K, Mori K, Ono A, Akamatsu H, Taira T, Yoshino R, Kenmotsu H, Saitoh J, Harada H, Naito T, Murakami H, Tomizawa Y, Matsuura M, Saito R, Nakajima T, Yamada M, Takahashi T.	先端医療科	Comparison of platinum combination re-challenge therapy and docetaxel monotherapy in non-small cell lung cancer patients previously treated with platinum-based chemoradiotherapy.	Springerplus. 2015 Mar 31;4:152.
3	Imai H, Mori K, Wakuda K, Ono A, Akamatsu H, Shukuya T, Taira T, Kenmotsu H, Naito T, Kaira K, Murakami H, Endo M, Nakajima T, Yamamoto N, Takahashi T.	先端医療科	Progression-free survival, post-progression survival, and tumor response as surrogate markers for overall survival in patients with extensive small cell lung cancer.	Ann Thorac Med. 2015 Jan-Mar;10(1):61-6.
4	Kaira K, Sunose Y, Oriuchi N, Kanai Y, Takeyoshi I.	先端医療科、臓器病態外科学	CD98 is a promising prognostic biomarker in biliary tract cancer.	Hepatobiliary Pancreat Dis Int. 2014 Dec;13(6):654-7.
5	Namikawa M, Kakizaki S, Kaira K, Tojima H, Yamazaki Y, Horiguchi N, Sato K, Oriuchi N, Tominaga H, Sunose Y, Nagamori S, Kanai Y, Oyama T, Takeyoshi I, Yamada M.	先端医療科、消化器・肝臓内科、光学医療診療部、臓器病態外科学	Expression of amino acid transporters (LAT1, ASCT2 and xCT) as clinical significance in hepatocellular carcinoma.	Hepatol Res. 2014 Oct 9.
6	Isoda A, Kaira K, Iwashina M, Oriuchi N, Tominaga H, Nagamori S, Kanai Y, Oyama T, Asao T, Matsumoto M, Sawamura M.	先端医療科	Expression of L-type amino acid transporter 1 (LAT1) as a prognostic and therapeutic indicator in multiple myeloma.	Cancer Sci. 2014 Nov;105(11):1496-502.
7	Yoshino R, Imai H, Mori K, Takei K, Tomizawa M, Kaira K, Yoshii A, Tomizawa Y, Saito R, Yamada M.	先端医療科	Surrogate endpoints for overall survival in advanced non-small-cell lung cancer patients with mutations of the epidermal growth factor receptor gene.	Mol Clin Oncol. 2014 Sep;2(5):731-736.
8	Enokida Y, Shimizu K, Kakegawa S, Atsumi J, Takase Y, Miyamae Y, Nagashima T, Ohtaki Y, Kaira K, Sunaga N, Yanagitani N, Yoshino R, Tsunekawa K, Igai H, Kamiyoshihara M, Usui K, Lezhava A, Tomizawa Y, Ishikawa T, Murakami M, Hayashizaki Y, Takeyoshi I.	先端医療科	Single-nucleotide polymorphism (c.309T>G) in the MDM2 gene and lung cancer risk.	Biomed Rep. 2014 Sep;2(5):719-724.
9	Kotake M, Sato K, Mogi C, Tobo M, Aoki H, Ishizuka T, Sunaga N, Imai H, Kaira K, Hisada T, Yamada M, Okajima F.	先端医療科	Acidic pH increases cGMP accumulation through the OGR1/phospholipase C/Ca(2+)/neuronal NOS pathway in N1E-115 neuronal cells.	Cell Signal. 2014 Nov;26(11):2326-32.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
10	Ishizuka T, Hisada T, Hatori M, Koike A, Hanabuchi K, Matsuzaki S, Kamide Y, Utsugi M, Aoki H, Yoshino R, Yanagitani N, Koga Y, Ono A, Kaira K, Sunaga N, Dobashi K, Tsuburai T, Akiyama K, Yamada M, Suzuki K, Mori M.	先端医療科、呼吸器・アレルギー内科	Safety and efficacy of high-dose leukocytapheresis in patients with refractory asthma.	Inflamm Res. 2014 Sep;63(9):789-96.
11	Imai H, Mori K, Ono A, Akamatsu H, Taira T, Kenmotsu H, Naito T, Kaira K, Murakami H, Endo M, Nakajima T, Takahashi T.	先端医療科	Individual-level data on the relationships of progression-free survival and post-progression survival with overall survival in patients with advanced non-squamous non-small cell lung cancer patients who received second-line chemotherapy.	Med Oncol. 2014 Aug;31(8):88.
12	Toyoda M, Kaira K, Ohshima Y, Ishioka NS, Shino M, Sakakura K, Takayasu Y, Takahashi K, Tominaga H, Oriuchi N, Nagamori S, Kanai Y, Oyama T, Chikamatsu K.	先端医療科	Prognostic significance of amino-acid transporter expression (LAT1, ASCT2, and xCT) in surgically resected tongue cancer.	Br J Cancer. 2014 May 13;110(10):2506-13.
13	Suzuki S, Kaira K, Ohshima Y, Ishioka NS, Sohda M, Yokobori T, Miyazaki T, Oriuchi N, Tominaga H, Kanai Y, Tsukamoto N, Asao T, Tsushima Y, Higuchi T, Oyama T, Kuwano H.	先端医療科、放射線診断核医学、第一外科	Biological significance of fluorine-18- α -methyltyrosine (FAMT) uptake on PET in patients with oesophageal cancer.	Br J Cancer. 2014 Apr 15;110(8):1985-91.
14	Shimizu K, Kaira K, Tomizawa Y, Sunaga N, Kawashima O, Oriuchi N, Tominaga H, Nagamori S, Kanai Y, Yamada M, Oyama T, Takeyoshi I.	先端医療科、臓器病態外科学	ASC amino-acid transporter 2 (ASCT2) as a novel prognostic marker in non-small cell lung cancer.	Br J Cancer. 2014 Apr 15;110(8):2030-9.
15	Sunaga N, Kaira K, Tomizawa Y, Shimizu K, Imai H, Takahashi G, Kakegawa S, Ohtaki Y, Nagashima T, Kasahara N, Kawashima O, Hisada T, Saito R, Yamada M.	先端医療科、呼吸器・アレルギー内科	Clinicopathological and prognostic significance of interleukin-8 expression and its relationship to KRAS mutation in lung adenocarcinoma.	Br J Cancer. 2014 Apr 15;110(8):2047-53.
16	Fujii T, Yajima R, Yamaguchi S, Yanagita Y, Fujisawa T, Hirakata T, Tsutsumi S, Asao T, Iijima M, Kuwano H.	先端医療科、第一外科	Extracapsular invasion of sentinel lymph nodes is not associated with disease recurrence in breast cancer.	Int Surg. 2014 Jul-Aug;99(4):305-8.
17	Fujii T, Sutoh T, Morita H, Yajima R, Yamaguchi S, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H.	先端医療科、第一外科	Vascular invasion, but not lymphatic invasion, of the primary tumor is a strong prognostic factor in patients with colorectal cancer.	Anticancer Res. 2014 Jun;34(6):3147-51.
18	Kato T, Fujii T, Ide M, Takada T, Sutoh T, Morita H, Yajima R, Yamaguchi S, Tsutsumi S, Asao T, Oyama T, Kuwano H.	先端医療科、第一外科	Effect of long interval between hyperthermochemoradiation therapy and surgery for rectal cancer on apoptosis, proliferation and tumor response.	Anticancer Res. 2014 Jun;34(6):3141-6.
19	Fujii T, Morita H, Sutoh T, Yajima R, Yamaguchi S, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H.	先端医療科、第一外科	Benefit of oral feeding as early as one day after elective surgery for colorectal cancer: oral feeding on first versus second postoperative day.	Int Surg. 2014 May-Jun;99(3):211-5.
20	Fujii T, Yajima R, Morita H, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H.	先端医療科、第一外科	A rare case of anterior chest wall schwannoma masquerading as a breast tumor.	Int Surg. 2014 May-Jun;99(3):196-9.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
21	Kataoka S, Baba A, Suda Y, Takii R, Hashimoto M, Kawakubo T, Asao T, Kadowaki T, Yamamoto K.	先端医療科	A novel, potent dual inhibitor of Arg- gingipains and Lys- gingipain as a promising agent for periodontal disease therapy.	FASEB J. 2014 Aug;28(8):3564-78.
22	Ohno T, Ogawa A, Yanai M, Toyomasu Y, Ogata K, Ando H, Aihara R, Mochiki E, Asao T, Hanawa M, Kuwano H.	先端医療科、第一外科	The usefulness and safety of the introducer technique using a bumper- button-type device as compared with the pull method for percutaneous endoscopic gastrostomy.	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech. 2015 Feb;25(1):e1-4.
23	Fujii T, Yajima R, Morita H, Yamaguchi S, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H.	先端医療科、第一外科	Adenoma of the nipple projecting out of the nipple: curative resection without excision of the nipple.	World J Surg Oncol. 2014 Apr 10;12:91.
24	Furuhata T. ,Hirata K. ,Wakao F. ,Okita K.,Imamura M. ,Maehara Y. ,Nishiyama M.	トランスレーショナルリ サーチセンター	Questionnaire survey for the development and publication of Cancer Clinical Practice Guidelines in Japan.	Int. J. Clin. Oncol. 19(5):771-8,2014.10
25	Tanaka A, Yoshino I, Makino S, Katsumata N, Takahashi K, Kuwano H, Maehara Y, Nishiyama M.	トランスレーショナルリ サーチセンター	Questionnaire-based survey on chemotherapy-induced.	anemia.Int.J.Clin.Oncol. 19(3):411-420,2014.6
26	Wada N, Singer W, Gehrking TL, Sletten DM, Schmelzer JD, Low PA.	リハビリテーション部、 大学院医学系研究科	Comparison of baroreflex sensitivity with a fall and rise in blood pressure induced by the Valsalva manoeuvre.	Clin Sci (Lond)
27	Wada N, Singer W, Gehrking TL, Sletten DM, Schmelzer JD, Kihara M, Low PA.	リハビリテーション部、 大学院医学系研究科	Determination of vagal baroreflex sensitivity in normal subjects.	Muscle Nerve
28	Tazawa M, Sohmiya M, Wada N, Defi IR, Shirakura K.	リハビリテーション部	Toe-out angle changes after total knee arthroplasty in patients with varus knee osteoarthritis.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc.
29	Abe Y, Sugaya T, Sakamoto M.	リハビリテーション部	The Postural Control Characteristics of Individuals with and without a History of Ankle Sprain during Single- leg Standing: Relationship between Center of Pressure and Acceleration of the Head and Foot Parameters.	J Phys Ther Sci.
30	Okamura S, Wada N, Tazawa M, Sohmiya M, Ibe Y, Shimizu T, Usuda S, Shirakura K.	リハビリテーション部	Injuries and disorders among young ice skaters: relationship with generalized joint laxity and tightness.	Open Access J Sports Med.
31	Sugaya T, Abe Y, Sakamoto M.	リハビリテーション部	Ultrasound evaluation of muscle thickness changes in the external oblique, internal oblique, and transversus abdominis muscles considering the influence of posture and muscle contraction.	J Phys Ther Sci.
32	Nakahara T, Jinzaki M, Niwamae N, Saito Y, Arai M, Tsushima Y, Kuribayashi S, Kurabayashi M	放射線診断核医学	The time-adjusted gradual replacement injection method enables better visualization of the right heart.	J Cardiovasc Comput Tomogr
33	Sofue K, Tsurusaki M, Murakami T, Onoe S, Tokue H, Shibamoto K, Arai Y, Sugimura K	放射線診断核医学	Does Gadoteric acid-enhanced 3.0T MRI in addition to 64-detector-row contrast-enhanced CT provide better diagnostic performance and change the therapeutic strategy for the preoperative evaluation of colorectal liver metastases?	Eur Radiol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
34	Takeuchi Y, Morishita H, Sato Y, Hamaguchi S, Sakamoto N, Tokue H, Yonemitsu T, Murakami K, Fujiwara H, Sofue K, Abe T, Higashihara H, Nakajima Y, Sato M	放射線診断核医学	Guidelines for the use of NBCA in vascular embolization devised by the Committee of Practice Guidelines of the Japanese Society of Interventional Radiology (CGJSIR), 2012 edition.	Jpn J Radiol
35	Nakahara T, Toyama T, Tsushima Y, Kurabayashi M	放射線診断核医学	Coronary vasospasm during CT angiography.	J Cardiovasc Comput Tomogr
36	Ikeda M, Tashiro Y, Takai E, Kurose S, Fugami N, Tsuda K, Arisaka Y, Kodaira S, Fujita Y, Makioka K, Mizuno Y, Shimada H, Harigaya Y, Takatama M, Amari M, Yamazaki T, Yamaguchi H, Higuchi T, Okamoto K, Tsushima Y, Ikeda Y	放射線診断核医学	CSF levels of A β 1-38/A β 1-40/A β 1-42 and 11C PiB-PET studies in three clinical variants of primary progressive aphasia and Alzheimer's disease.	Amyloid
37	Kumasaka S, Miyazaki M, Shibuya K Tsushima Y	放射線診断核医学	A successful case of pushing, catching, and fixing a migrated microcoil using a detachable coil.	Jpn J Radiol
38	Jingu A, Fukuda J, Taketomi-Takahashi A, Tsushima Y	放射線診断核医学	Breakthrough reactions of iodinated and gadolinium contrast media after oral steroid premedication protocol.	BMC Med Imaging
39	Tokue H, Hirasawa S, Morita H, Koyama Y, Miyazaki M, Shibuya K, Tokue A, Nakano S, Tsushima Y	放射線診断核医学	Percutaneous image-guided biopsy for non-mass-forming isolated splenomegaly and suspected malignant lymphoma.	PLoS One
40	Fukushima Y, Taketomi-Takahashi A, Nakajima T, Tsushima Y	放射線診断核医学	Prefecture-wide multi-center radiation dose survey as a useful tool for CT dose optimization; Report of Gunma radiation dose study.	Radiat Prot Dosimetry
41	Yamaguchi A, Hanaoka H, Pirmettis I, Uehara T, Tsushima Y, Papadopoulos M, Arano Y	放射線診断核医学	On the injection site radioactivity of 99mTc-labeled mannosylated dextran for sentinel lymph node mapping.	Mol Pharm
42	Kim M, Achmad A, Higuchi T, Arisaka Y, Yokoo H, Yokoo S, Tsushima Y:	放射線診断核医学	Effects of intra-tumoral inflammatory process on 18F-FDG uptake: pathologic and comparative study with 18F-FAMT PET/CT in oral squamous cell carcinoma.	J Nucl Med
43	Yoshinaga K, Oriuchi N, Wakabayashi H, Tomiyama Y, Jinguji M, Higuchi T, Kayano D, Fukuoka M, Inaki A, Toratani A, Okamoto S, Shiga T, Ito Y, Nakajo M, Kinuya S:	放射線診断核医学	Effects and safety of 131I-metaiodobenzylguanidine(MIBG) radiotherapy in malignant neuroendocrine tumors: Results from a multicenter observational registry.	Endocr J
44	Mirasari P, Mas R A.A.S, Iso T, Yamaguchi A, Hanaoka H, Sunaga H, Koitabashi N, Matsui H, Yamazaki C, Kameo S, Tsushima Y, Yokoyama T, Koyama H, Nada A A, Kurabayashi M	放射線診断核医学	CD36 is indispensable for thermogenesis under conditions of fasting and cold stress.	Biochem Biophys Res Commun
45	Heryanto Y D, Achmad A, Taketomi-Takahashi A, Tsushima Y	放射線診断核医学	In vivo molecular imaging of cancer stem cells.	Am J Nucl Med Mol Imaging

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
46	Hanaoka H, Ohshima Y, Suzuki Y, Yamaguchi A, Watanabe S, Uehara T, Nagamori S, Kanai Y, Ishioka N, Tsushima Y, Endo K, Arano Y	放射線診断核医学	Development of a Widely Usable Amino Acid Tracer: ^{76}Br - α -Methyl-Phenylalanine for Tumor PET Imaging.	J Nucl Med
47	Hagiwara S, Kaneko M, Murata M, Ikegami T, Oshima K	救急医学	A survival case of severe liver failure caused by acetylsalicylic acid that was treated with living donor liver transplantation.	HIPPOKRATIA
48	Sadakata H, Shinozaki H, Higuchi T, Minegishi T.	産科婦人科	Case of radioactive iodine exposure during pregnancy	J Obstet Gynaecol Res
49	Iwamune M, Nakamura K, Kitahara Y, Minegishi T.	産科婦人科	MicroRNA-376a regulates 78-kilodalton glucose-regulated protein expression in rat granulosa cells	PLoS One
50	Imai F, Kishi H, Nakao K, Nishimura T, Minegishi T.	産科婦人科	IL-6 up-regulates the expression of rat LH receptors during granulosa cell differentiation.	Endocrinology
51	Toyoda M, Kaira K, Shino M, Sakakura K, Takahashi K, Takayasu Y, Tominaga H, Oriuchi N, Nikkuni O, Suzuki M, Iijima M, Tsukamoto N, Nagamori S, Kanai Y, Oyama T, Chikamatsu K.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、先端医療科	CD98 as a novel prognostic indicator for patients with stage III/IV hypopharyngeal squamous cell carcinoma.	Head Neck. 2014 Jun 10. doi: 10.1002/hed.23797. [Epub ahead of print]
52	Masato Shino, Yoshihito Yasuoka, Kyoko Nakajima, and Kazuaki Chikamatsu	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	A Case of Pyriform Sinus Fistula Infection with Double Tracts	Case Rep Otolaryngol. 2014;2014:126840. doi: 10.1155/2014/126840.
53	Kayakabe M, Takahashi K, Okamiya T, Segawa A, Oyama T, Chikamatsu K.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Combined small cell carcinoma of the sinonasal tract associated with syndrome of inappropriate secretion of antidiuretic hormone: A case report.	Oncol Lett. 2014 Apr;7(4):1253-1256. Epub 2014 Feb 13.
54	Sakakura K1, Takahashi H, Kaira K, Toyoda M, Oyama T, Chikamatsu K.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Immunological significance of the accumulation of autophagy components in oral squamous cell carcinoma.	Cancer Sci. 2015 Jan;106(1):1-8.
55	Seki M, Kurishima C, Saiki H, Masutani S, Arakawa H, Tamura M, Senzaki H.	大学院医学系研究科 小児科学分野	Progressive aortic dilation and aortic stiffness in children with repaired tetralogy of Fallot.	Heart Vessels. 29(1):83-7. 2014
56	Shiba N, Funato M, Ohki K, Park MJ, Mizushima Y, Adachi S, Kobayashi M, Kinoshita A, Sotomatsu M, Arakawa H, Tawa A, Horibe K, Tsukimoto I, Hayashi Y.	医学部附属病院 小児科	Mutations of the GATA2 and CEBPA genes in paediatric acute myeloid leukaemia.	Br J Haematol. 164(1):142-145. 2014
57	Shiba N, Ohki K, Park MJ, Sotomatsu M, Kudo K, Ito E, Sako M, Arakawa H, Hayashi Y.	医学部附属病院 小児科	SETBP1 mutations in juvenile myelomonocytic leukaemia and myelodysplastic syndrome but not in paediatric acute myeloid leukaemia.	Br J Haematol. 164(1):156-159. 2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
58	Matsuo H, Kajihara M, Tomizawa D, Watanabe T, Saito AM, Fujimoto J, Horibe K, Kodama K, Tokumasu M, Itoh H, Nakayama H, Kinoshita A, Taga T, Tawa A, Taki T, Shiba N, Ohki K, Hayashi Y, Yamashita Y, Shimada A, Tanaka S, Adachi S.	医学部附属病院 小児科	EV11 overexpression is a poor prognostic factor in pediatric patients with mixed lineage leukemia-AF9 rearranged acute myeloid leukemia.	Haematologica. 99(11):225-227. 2014
59	Hagiwara S, Mochizuki H, Muramatsu R, Koyama H, Yagi H, Nishida Y, Kobayashi T, Sakamoto N, Takizawa T, Arakawa H.	大学院医学系研究科 小児科学分野	Reference values for Japanese children's respiratory resistance using the LMS method.	Allergol Int. 63(1):113-9. 2014
60	Nakagawa Y, Ohtsu Y, Nagasawa M, Shibata H, Kojima I.	医学部附属病院 小児科	Glucose promotes its own metabolism by acting on the cell-surface glucose-sensing receptor T1R3.	Endocr J. 61(2):119-31. 2014
61	Ohtsu Y, Nakagawa Y, Nagasawa M, Arakawa H, Kojima I.	医学部附属病院 小児科	Diverse signaling systems activated by the sweet taste receptor in human GLP-1-secreting cells.	Mol Cell Endocrinol. 394(1-2):70-79. 2014
62	Ishii Y, Inamura N, Kayatani F, Iwai S, Kawata H, Arakawa H, Kishimoto H.	医学部附属病院 小児科	Evaluation of bilateral pulmonary artery banding for initial palliation in single-ventricle neonates and infants: risk factors for mortality before the bidirectional Glenn procedure.	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 19(5):807-811. 2014
63	Inamura N, Kubota A, Ishii R, Ishii Y, Kawazu Y, Hamamichi Y, Yoneda A, Kawahara H, Okuyama H, Kayatani F.	医学部附属病院 小児科	Efficacy of the circulatory management of an antenatally diagnosed congenital diaphragmatic hernia: outcomes of the proposed strategy.	Pediatr Surg Int. 30(9):889-894. 2014
64	Yi SH, He XB, Rhee YH, Park CH, Takizawa T, Nakashima K, Lee SH.	大学院医学系研究科 小児科学分野	Foxa2 acts as a co-activator potentiating expression of the Nurr1-induced DA phenotype via epigenetic regulation.	Development. 141(4):761-772. 2014
65	Yoshii T, Miyamoto T, Inui A, Tanaka Y, Yoshitake S, Seki M, Kobayashi T.	医学部附属病院 小児科	Fontan completion following flow adjustable bilateral pulmonary artery banding.	Int Heart J. 55(6):552-554. 2014
66	Miyamoto T, Ikeda K, Ishii Y, Kobayashi T.	医学部附属病院 小児科	Rupture of a coronary artery aneurysm in Kawasaki disease: a rare case and review of the literature for the past 15 years.	J Thorac Cardiovasc Surg. 147(6):67. 2014
67	Takahashi Y, Sano R, Nakajima T, Kominato Y, Kubo R, Takahashi K, Ohshima N, Hirano T, Kobayashi S, Shimada T, Tokue H, Awata S, Hirasawa S, Ishige T.	医学部附属病院 小児科	Combination of postmortem mass spectrometry imaging and genetic analysis reveals very long-chain acyl-CoA dehydrogenase deficiency in a case of infant death with liver steatosis.	Forensic Sci Int. 244:e34-37. 2014
68	Abe K, Yamashita T, Hishikawa N, Ohta Y, Deguchi K, Sato K, Matsuzono K, Nakano Y, Ikeda Y, Wakutani Y, Takao Y	脳神経内科	A new simple score (ABS) for assessing behavioral and psychological symptoms of dementia	J Neurol Sci 2015; 350: 14-7
69	Deguchi K, Liu N, Liu W, Omote Y, Kono S, Yunoki T, Deguchi S, Yamashita T, Ikeda Y, Abe K	脳神経内科	Pericyte protection by edaravone after tissue plasminogen activator treatment in rat cerebral ischemia	J Neurosci Res 2014; 92: 1509-19

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
70	Furuta N, Furuta M, Makioka K, Fujita Y, Okamoto K	脳神経内科	Parkinson's disease presenting with oculogyric crisis in the off period	Intern Med 2014; 53: 793-5
71	Ikeda M, Tashiro Y, Takai E, Kurose S, Fugami N, Tsuda K, Arisaka Y, Kodaira S, Fujita Y, Makioka K, Mizuno Y, Shimada H, Harigaya Y, Takatama M, Amari M, Yamazaki T, Yamaguchi H, Higuchi T, Okamoto K, Tsushima Y, Ikeda Y	脳神経内科	CSF levels of Abeta1-38/Abeta1-40/Abeta1-42 and 11C PiB-PET studies in three clinical variants of primary progressive aphasia and Alzheimer's disease	Amyloid 2014; 21: 238-45
72	Kawahara Y, Ikeda M, Deguchi K, Hishikawa N, Kono S, Omote Y, Matsuzono K, Yamashita T, Ikeda Y, Abe K	脳神経内科	Cognitive and affective assessments of multiple sclerosis (MS) and neuromyelitis optica (NMO) patients utilizing computerized touch panel-type screening tests	Intern Med 2014; 53: 2281-90
73	Kurata T, Hatanaka N, Morimoto N, Deguchi S, Deguchi K, Ikeda Y, Abe K	脳神経内科	Pulsion severity showed a good correlation with cognitive function in Parkinson's disease	Neurol Res 2014; 36: 962-7
74	Kurata T, Lukic V, Kozuki M, Wada D, Miyazaki K, Morimoto N, Ohta Y, Deguchi K, Ikeda Y, Kamiya T, Abe K	脳神経内科	Telmisartan reduces progressive accumulation of cellular amyloid beta and phosphorylated tau with inflammatory responses in aged spontaneously hypertensive stroke resistant rat	J Stroke Cerebrovasc Dis 2014; 23: 2580-90
75	Liu W, Ikeda Y, Hishikawa N, Yamashita T, Deguchi K, Abe K	脳神経内科	Characteristic RNA foci of the abnormal hexanucleotide GGCCUG repeat expansion in spinocerebellar ataxia type 36 (Asidan)	Eur J Neurol 2014; 21: 1377-86
76	Makioka K, Yamazaki T, Takatama M, Ikeda M, Okamoto K	脳神経内科	Immunolocalization of Smurf1 in Hirano bodies	J Neurol Sci 2014; 336: 24-8
77	Miyashita A, Wen Y, Kitamura N, Matsubara E, Kawarabayashi T, Shoji M, Tomita N, Furukawa K, Arai H, Asada T, Harigaya Y, Ikeda M, Amari M, Hanyu H, Higuchi S, Nishizawa M, Suga M, Kawase Y, Akatsu H, Imagawa M, Hamaguchi T, Yamada M, Morihara T, Takeda M, Takao T, Nakata K, Sasaki K, Watanabe K, Nakashima K, Urakami K, Ooya T, Takahashi M, Yuzuriha T, Serikawa K, Yoshimoto S, Nakagawa R, Saito Y, Hatsuta H, Murayama S, Kakita A, Takahashi H, Yamaguchi H, Akazawa K, Kanazawa I, Ihara Y, Ikeuchi T, Kuwano R	脳神経内科	Lack of genetic association between TREM2 and late-onset Alzheimer's disease in a Japanese population	J Alzheimers Dis 2014; 41: 1031-8
78	Okamoto K, Amari M, Fujita Y, Makioka M, Fukuda T, Suzuki K, Takatama M	脳神経内科	Cytoplasmic TDP-43 accumulation in cells of the adrenal medulla in individuals with or without amyotrophic lateral sclerosis	Neuropathology 2014; 34: 535-40

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
79	Omote Y, Deguchi K, Kono S, Liu W, Kurata T, Hishikawa N, Yamashita T, Ikeda Y, Abe K	脳神経内科	Synergistic neuroprotective effects of combined treatment with olmesartan plus azelnidipine in stroke-prone spontaneously hypertensive rats	J Neurosci Res 2014; 92: 1330-7
80	Sato M, Hirayanagi K, Makioka K, Ikeda Y	脳神経内科	Reversal of leukoencephalopathy induced by liposomal amphotericin B in a patient with cryptococcal meningitis	J Neurol Sci 2015; 350: 118-9
81	Sato K, Morimoto N, Deguchi K, Ikeda Y, Matsuura T, Abe K	脳神経内科	Seven amyotrophic lateral sclerosis patients diagnosed only after development of respiratory failure	J Clin Neurosci 2014; 21: 1341-3
82	Tashiro Y, Yamazaki T, Nagamine S, Mizuno Y, Yoshiki A, Okamoto K	脳神経内科	Repeated encephalopathy and hemispheric atrophy in a patient with familial hemiplegic migraine type 1	Intern Med 2014; 53: 2245-50
83	Iizuka H, Iizuka Y, Kobayashi R, Nishinome M, Sorimachi Y, Takagishi K:	整形外科	The relationship between an intramedullary high signal intensity and the clinical outcome in atlanto-axial subluxation owing to rheumatoid arthritis.	Spine J. 14(6):938-43, 2014
84	Yanagawa T, Saito K, Takagishi K:	整形外科	Risk factors for lymphatic metastasis of malignant bone and soft-tissue tumors: A retrospective cohort study of 242 patients.	Medicine. 2014 Dec;93(27)
85	Iizuka Y, Iizuka H, Kobayashi R, Mieda T, Takagishi K:	整形外科	Giant schwannoma with extensive scalloping of the lumbar vertebral body treated with one-stage posterior surgery: a case report.	J Med Case Rep. 2014. Dec
86	Iizuka Y, Iizuka H, Nagano K, Tsutsumi S, Nakajima T, Takagishi K:	整形外科	Laminoplasty preserving the extensor musculature for a pediatric cervicothoracic epidural hematoma case of hemophilia A.	J Pediatr Orthop B. 23(6):584-8, 2014
87	Iizuka Y, Iizuka H, Mieda T, Tajika T, Yamamoto A, Takagishi K:	整形外科	Association between the "loco-check" and EuroQol, a comprehensive instrument for assessing the health-related quality of life: A study of the Japanese general population.	J Orthop Sci. 19(5):786-91, 2014
88	Iizuka Y, Iizuka H, Mieda T, Kobayashi R, Tsutsumi S, Nakajima T, Sorimachi Y, Ara T, Nishinome M, Seki T, Takagishi K:	整形外科	Prognostic factors for cervical spondylotic amyotrophy: Are signs of spinal cord involvement associated with the neurological prognosis?	Spinal Cord. 52(5): 364-7, 2014
89	Tajika T, Kobayashi T, Yamamoto A, Kaneko T, Takagishi K	整形外科	Prevalence and risk factors of lateral epicondylitis in a mountain village in Japan.	J Orthop Surg (Hong Kong). Aug;22(2):240-3, 2014
90	Yamamoto A, Massimini DF, DiStefano JG, Higgins LD:	整形外科	Glenohumeral contact pressure with simulated anterior labral and osseous defects in cadaveric shoulders before and after soft tissue repair.	American Journal of Sports Medicine. 42(8):1947-54, 2014
91	Yamamoto A, Takagishi K, Kobayashi T, Shitara H, Ichinose T, Takasawa E, Shimoyama D:	整形外科	The impact of faulty posture on rotator cuff tears with and without symptoms.	J Shoulder Elbow Surg. 2015 Mar;24(3):446-52
92	Okamura K, Yonemoto Y, Okura C, Kobayashi T, Takagishi K:	整形外科	Efficacy of the clinical use of iguratimod therapy in patients with rheumatoid arthritis.	Mod Rheumatol. 2015 Mar;25(2):235-40
93	Okamura K, Yonemoto Y, Okura C, Higuchi T, Tsushima Y, Takagishi K:	整形外科	Evaluation of Tocilizumab Therapy in Patients with Rheumatoid Arthritis Based on FDG-PET/CT.	BMC Musculoskeletal Disorders 2014, 15:393 doi:10.1186/1471-2474-15-393.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
94	Sasaki T, Okamura K, Yonemoto Y, Okura C, Takagishi K:	整形外科	Pelvic peritonitis during biologic therapy for rheumatoid arthritis: a case report and review of the literature.	Springer Plus. 2014 Sep 29;3:567.
95	Takasawa E, Yamamoto A, Kobayashi T, Tajika T, Shitara H, Ichinose T, Mieda T, Iizuka Y, Iizuka H, Takagishi K:	整形外科	Characteristics of neck and shoulder pain in the Japanese general population.	J Orthop Sci. 2015 Mar;20(2):403-9.
96	Tsunoda D, Iizuka H, Iizuka Y, Nishinome M, Takagishi K :	整形外科	Wrist drop and muscle weakness of the fingers induced by an upper cervical spine anomaly.	Eur Spine J. 23(Suppl 2):218-221,2014
97	Tajika T, Kobayashi T, Yamamoto A, Shitara H, Ichinose T, Shimoyama D, Okura C, Kanazawa S, Nagai A, Takagishi K.	整形外科	Relationship between grip, pinch strengths and anthropometric variables, types of pitch throwing among Japanese high school baseball pitchers.	Asian J Sports Med. 2015 Mar;6(1):e25330.
98	Marumo K, Takizawa R, Kinou M, Kawasaki S, Kawakubo Y, Fukuda M, Kasai K	精神科神経科	Functional abnormalities in the left ventrolateral prefrontal cortex during a semantic fluency task, and their association with thought disorder in patients with schizophrenia.	NeuroImage
99	Takizawa R, Fukuda M, Kawasaki S, Kasai K, Mimura M, Pu S, Noda T, Niwa S, Okazaki Y, the Joint Project for Psychiatric Application of Near-Infrared Spectroscopy (JPSY-NIRS) Group	精神科神経科	Neuroimaging-aided differential diagnosis of the depressive state.	NeuroImage
100	Takei Y, Suda M, Aoyama Y, Sakurai N, Tagawa M, Motegi T, Yamaguchi M, Narita K, Fukuda M	精神科神経科	Near-infrared spectroscopic study of frontopolar activation during face-to-face conversation in major depressive disorder and bipolar disorder.	J Psychiatr Res
101	Funane T, Sato H, Yahata N, Takizawa R, Nishimura Y, Kinoshita A, Katura T, Atsumori H, Fukuda M, Kasai K, Koizumi H, Kiguchi M	精神科神経科	Concurrent fNIRS-fMRI measurement to validate a method for separating deep and shallow fNIRS signals by using multidistance optodes.	Neurophotonics
102	Kasai K, Fukuda M, Yahata N, Morita K, Fujii N	精神科神経科	The future of real-world neuroscience: imaging techniques to assess active brains in social environments.	Neurosci Res
103	Yamada E, Saito T, Okada S, Takahashi H, Ohshima K, Hashimoto K, Satoh T, Mori M, Okada J, Yamada M.	内分泌糖尿病内科	Synip phosphorylation is required for insulin-stimulated Glut4 translocation and glucose uptake in podocyte.	Endocr J. 2014;61(5):523-7.
104	Yoshino S, Satoh T, Yamada M, Hashimoto K, Tomaru T, Katano-Toki A, Kakizaki S, Okada S, Shimizu H, Ozawa A, Tuchiya T, Ikota H, Nakazato Y, Mori M, Matozaki T, Sasaki T, Kitamura T, Mori M.	内分泌糖尿病内科	Protection against high-fat diet-induced obesity in Helz2-deficient male mice due to enhanced expression of hepatic leptin receptor.	Endocrinology. 2014 Sep;155(9):3459-72.
105	Nakajima Y, Okamura T, Gohko T, Satoh T, Hashimoto K, Shibusawa N, Ozawa A, Ishii S, Tomaru T, Horiguchi K, Okada S, Takata D, Rokutanda N, Horiguchi J, Tsushima Y, Oyama T, Takeyoshi I, Yamada M.	内分泌糖尿病内科、放射線診断核医学、臓器病態外科学	Somatic mutations of the catalytic subunit of cyclic AMP-dependent protein kinase (PRKACA) gene in Japanese patients with several adrenal adenomas secreting cortisol [Rapid Communication].	Endocr J. 2014;61(8):825-32.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
106	Saito T, Yamada E, Okada S, Shimoda Y, Tagaya Y, Hashimoto K, Satoh T, Mori M, Okada J, Pessin JE, Yamada M.	内分泌糖尿病内科	Nucleobindin-2 is a positive regulator for insulin-stimulated glucose transporter 4 translocation in fenofibrate treated E11 podocytes.	Endocr J. 2014;61(9):933-9.
107	Okada S, Shibusawa R, Tagaya Y, Saito T, Yamada E, Shimoda Y, Satoh T, Okada J, Yamada M.	内分泌糖尿病内科	Glycosuria medicated with ipragliflozin and nifedipine or ipragliflozin and candesartan: a case report.	J Med Case Rep. 2014 Dec 16;8:428. doi: 10.1186/1752-1947-8-428.
108	Osaki A, Shimizu H.	内分泌糖尿病内科	Peripheral administration of nesfatin-1 increases blood pressure in mice.	Hypertens Res. 2014 Feb;37(2):185-6.
109	Shimizu H, Osaki A.	内分泌糖尿病内科	Nesfatin/Nucleobindin-2 (NUCB2) and Glucose Homeostasis.	Curr Hypertens Rev. 2014 Jul 1. [Epub ahead of print]
110	Ikegami K, Liao XH, Hoshino Y, Ono H, Ota W, Ito Y, Nishiwaki-Ohkawa T, Sato C, Kitajima K, Iigo M, Shigeyoshi Y, Yamada M, Murata Y, Refetoff S, Yoshimura T.	内分泌糖尿病内科	Tissue-specific posttranslational modification allows functional targeting of thyrotropin.	Cell Rep. 2014 Nov 6;9(3):801-10.
111	Satoh T, Katano-Toki A, Tomaru T, Yoshino S, Ishizuka T, Horiguchi K, Nakajima Y, Ishii S, Ozawa A, Shibusawa N, Hashimoto K, Mori M, Yamada M.	内分泌糖尿病内科	Coordinated regulation of transcription and alternative splicing by the thyroid hormone receptor and its associating coregulators.	Biochem Biophys Res Commun. 2014 Aug 15;451(1):24-9.
112	Shimoda Y, Satoh T, Takahashi H, Katano-Toki A, Ozawa A, Tomaru T, Horiguchi N, Kaira K, Nishioka M, Shibusawa N, Hashimoto K, Wakino S, Mori M, Yamada M.	内分泌糖尿病内科、先端医療科	A case of thyroid storm with a markedly elevated level of circulating soluble interleukin-2 receptor complicated by multiple organ failure and disseminated intravascular coagulation syndrome.	Endocr J. 2014;61(7):691-6. Epub 2014 May 20.
113	Sasaki T, Kikuchi O, Shimpuku M, Susanti VY, Yokota-Hashimoto H, Taguchi R, Shibusawa N, Sato T, Tang L, Amano K, Kitazumi T, Kuroko M, Fujita Y, Maruyama J, Lee YS, Kobayashi M, Nakagawa T, Minokoshi Y, Harada A, Yamada M, Kitamura T.	内分泌糖尿病内科	Hypothalamic SIRT1 prevents age-associated weight gain by improving leptin sensitivity in mice.	Diabetologia. 2014 Apr;57(4):819-31.
114	Ishizuka T, Hisada T, Kamide Y, Aoki H, Seki K, Honjo C, Sakai H, Kadowaki M, Umeda Y, Morikawa M, Anzai M, Ameshima S, Ishizaki T, Dobashi K, Yamada M, Kusano M.	呼吸器・アレルギー内科	The effects of concomitant GERD, dyspepsia, and rhinosinusitis on asthma symptoms and FeNO in asthmatic patients taking controller medications.	J Asthma Allergy. 2014 Sep 5;7:131-9
115	Kotake M, Sato K, Mogi C, Tobo M, Aoki H, Ishizuka T, Sunaga N, Imai H, Kaira K, Hisada T, Yamada M, Okajima F.	呼吸器・アレルギー内科	Acidic pH increases cGMP accumulation through the OGR1/phospholipase C/Ca(2+)/neuronal NOS pathway in N1E-115 neuronal cells.	Cell Signal. 2014 Nov;26(11):2326-32.
116	Kaira K, Okamura T, Takahashi H, Horiguchi N, Sunaga N, Hisada T, Yamada M.	呼吸器・アレルギー内科、先端医療科	Small-cell lung cancer with voltage-gated calcium channel antibody-positive paraneoplastic limbic encephalitis: a case report.	J Med Case Rep. 2014 Apr 8;8:119. doi: 10.1186/1752-1947-8-119.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
117	Kusano M, Hosaka H, Kawamura O, Kawada A, Kuribayashi S, Shimoyama Y, Yasuoka H, Mizuide M, Tomizawa T, Sagawa T, Sato K, Yamada M	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	More severe upper gastrointestinal symptoms associated with non-erosive reflux disease than with erosive gastroesophageal reflux disease during maintenance proton pump inhibitor therapy	J gastroenterol 2015 Mar;50(3):298-304. doi: 10.1007/s00535-014-0972-9. Epub 2014 Jun 12.
118	Kawamura O, Hosaka H, Shimoyama Y, Kawada A, Kuribayashi S, Kusano M, Yamada M	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	Evaluation of proton pump inhibitor-resistant nonerosive reflux disease by esophageal manometry and 24-hour esophageal impedance and pH monitoring	Digestion 91 (1):19-25, 2015 doi: 10.1159/000368766. Epub 2015 Jan 20.
119	Kusano M	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	Evidence-based clinical practice guidelines for functional dyspepsia	J Gastroenterol 2015 Feb;50(2):125-39. doi: 10.1007/s00535-014-1022-3. Epub 2015 Jan 14.
120	Kawamura O, Kusano M	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	Intra-gastric pH following single oral administrations of rabeprazole and esomeprazole: double-blind cross-over comparison.	J Clin Biochem Nutr. 2014 Nov;55(3):178-83. doi: 10.3164/jcbn.14-41. Epub 2014 Oct 4.
121	Kusano M	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	Effect of acotiamide on gastric emptying in healthy adult humans.	Eur J Clin Invest. 2014 Dec;44(12):1215-21. doi: 10.1111/eci.12367.
122	Shimoyama Y, Kawada A, Kusano M, Yamada M	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	Gastrointestinal symptoms in idiopathic pulmonary fibrosis patients treated with pirfenidone and herbal medicine	Journal of biological regulators & homeostatic agents Vol.28, no 3, 433-442, 2014
123	Shimoyama Y, Kawada A, Kusano M	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	Clinical characteristics of elderly patients with proton pump inhibitor-refractory non-erosive reflux disease from the G-PRIDE study who responded to rikkunshito	BMC gastroenterology 2014 Jul 2;14:116. doi: 10.1186/1471-230X-14-116.
124	Shimoyama Y, Kusano M, Kuribayashi S, Kawada A, Hosaka H, Kawamura O, Tomizawa T, Sagawa T, Yasuoka H, Mizuide M and Yamada M	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	Photodynamic therapy for local recurrence of esophageal cancer in the esophagus after resection and free jejunal loop interposition for pharyngeal cancer.	Photodiagnosis Photodyn Ther. 2014 Sep;11(3):447-9. doi: 10.1016/j.pdpdt.2014.05.005. Epub 2014 Jun 2.
125	Ohyama T, Sato K, Yamazaki Y, Hashizume H, Horiguchi N, Kakizaki S, Mori M, Kusano M, Yamada M.	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	MK-0626, a selective DPP-4 inhibitor, attenuates hepatic steatosis in ob/ob mice.	World J Gastroenterol.
126	Sagawa T, Sato K, Tomizawa T, Mizuide M, Yasuoka H, Shimoyama Y, Kuribayashi S, Kakizaki S, Kawamura O, Kusano M, Yamada M.	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	A prospective randomized controlled trial of AJG522 versus standard PEG+E as bowel preparation for colonoscopy.	Biomed Res Int.
127	Hosonuma K, Sato K, Yamazaki Y, Yanagisawa M, Hashizume H, Horiguchi N, Kakizaki S, Kusano M, Yamada M.	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	A prospective randomized controlled study of long-term combination therapy using ursodeoxycholic acid and bezafibrate in patients with primary biliary cirrhosis and dyslipidemia.	Am J Gastroenterol.
128	Tanaka Y, Sato K, Tsuchida H, Mizuide M, Yasuoka H, Ishida K, Mori M, Kusano M, Yamada M.	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	A prospective randomized controlled study of endoscopic sphincterotomy with the Endocut mode or conventional blended cut mode.	J Clin Gastroenterol.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
129	Takeuchi S, Yamazaki Y, Sato K, Takizawa D, Yamada M, Okamoto H.	消化器・肝臓内科、光学医療診療部	Full genome analysis of a European-type genotype 3 hepatitis E virus variant obtained from a Japanese patient with autochthonous acute hepatitis E.	J Med Virol.
130	T. Nagashima, K. Shimizu, Y. Ohtaki, K. Obayashi, S. Kakegawa, S. Nakazawa, M. Kamiyoshihara, H. Igai and I. Takeyoshi	臓器病態外科学	An analysis of variations in the bronchovascular pattern of the right upper lobe using three-dimensional CT angiography and bronchography	Gen Thorac Cardiovasc Surg
131	M. Kamiyoshihara, H. Igai, T. Ibe, N. Kawatani, K. Shimizu and I. Takeyoshi	臓器病態外科学	A 3.5-cm Single-Incision VATS Anatomical Segmentectomy for Lung Cancer	Ann Thorac Cardiovasc Surg
132	K. Kaira, Y. Sunose, K. Arakawa, N. Sunaga, K. Shimizu, H. Tominaga, N. Oriuchi, S. Nagamori, Y. Kanai, T. Oyama and I. Takeyoshi	臓器病態外科学	Clinicopathological significance of ASC amino acid transporter-2 expression in pancreatic ductal carcinoma	Histopathology
133	K. Hashimoto, M. Ota, T. Irie, D. Takata, T. Nakajima, Y. Kaneko, Y. Tanaka, S. Matsumoto, Y. Nakajima, M. Kurabayashi, T. Oyama, I. Takeyoshi, M. Mori and M. Yamada	臓器病態外科学	A Case of Type 2 Amiodarone-Induced Thyrotoxicosis That Underwent Total Thyroidectomy under High-Dose Steroid Administration	Case Rep Endocrinol
134	J. Atsumi, T. Hanami, Y. Enokida, H. Ogawa, D. Delobel, Y. Mitani, Y. Kimura, T. Soma, M. Tagami, Y. Takase, T. Ichihara, I. Takeyoshi, K. Usui, Y. Hayashizaki and K. Shimizu	臓器病態外科学	Eprobe-mediated screening system for somatic mutations in the KRAS locus	Oncol Rep
135	H. Yashima, K. Shimizu, T. Araki, T. Aomori, Y. Ohtaki, T. Nagashima, Y. Enokida, J. Atsumi, T. Nakamura, I. Takeyoshi and K. Yamamoto	臓器病態外科学	Assessment of DDR2, BRAF, EGFR and KRAS mutations as therapeutic targets in non-adenocarcinoma lung cancer patients	Mol Clin Oncol
136	K. Shimizu, T. Nagashima, Y. Ohtaki and I. Takeyoshi	臓器病態外科学	Novel repair of a defect in the cervical trachea with a thymus pedicle flap	J Thorac Cardiovasc Surg
137	S. Nakazawa, J. Mohara, T. Takahashi, N. Koike and I. Takeyoshi	臓器病態外科学	Aortocaval fistula associated with ruptured abdominal aortic aneurysm	Ann Vasc Surg
138	T. Makiguchi, J. Horiguchi, R. Nagaoka, S. Yokoo, H. Terashi, T. Oyama and I. Takeyoshi	臓器病態外科学	Huge myoid hamartoma of the breast treated with reduction mammoplasty: report of a case	Surg Today
139	M. Kamiyoshihara, H. Igai, N. Kawatani, T. Ibe, N. Tomizawa, K. Obayashi, K. Shimizu and I. Takeyoshi	臓器病態外科学	Lung metastasectomy for postoperative colorectal cancer in patients with a history of hepatic metastasis	Gen Thorac Cardiovasc Surg
140	Akuzawa N, Osawa T, Totsuka M, Hatori T, Imai K, Kitahara Y, Kurabayashi M.	Department of Medicine and Biological Science	Secondary brain abscess following simple renal cyst infection: a case report.	BMC Neurol. 2014;14:130
141	Akuzawa N, Harada N, Hatori T, Imai K, Kitahara Y, Sakurai S, Kurabayashi M	Department of Medicine and Biological Science	Myocarditis, hepatitis, and pancreatitis in a patient with coxsackievirus A4 infection: a case report.	Virol J. 2014;11:3.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
142	Daida H, Nohara R, Hata M, Kaku K, Kawamori R, Kishimoto J, Kurabayashi M, Masuda I, Sakuma I, Yamazaki T, Yokoi H, Yoshida M; Justification for Atherosclerosis Regression Treatment (JART) Investigators.	Department of Medicine and Biological Science	Can intensive lipid-lowering therapy improve the carotid intima-media thickness in Japanese subjects under primary prevention for cardiovascular disease?: The JART and JART extension subanalysis.	J Atheroscler Thromb. 2014;21:739-54.
143	Fujita K, Kasama S, Kurabayashi M.	Department of Medicine and Biological Science	Serial dual single-photon emission computed tomography of thallium-201 and iodine-123 beta-methyliodophenyl pentadecanoic acid scintigraphy can predict functional recovery of patients with coronary artery disease after coronary artery bypass graft surgery.	Nucl Med Commun. 2015 Feb;36(2):148-55.
144	Hara K, Iijima K, Elias MK, Seno S, Tojima I, Kobayashi T, Kephart GM, Kurabayashi M, Kita H.	Department of Medicine and Biological Science	.Airway uric acid is a sensor of inhaled protease allergens and initiates type 2 immune responses in respiratory mucosa.	J Immunol. 2014 May 1;192(9):4032-42
145	Iizuka T, Kaneko Y, Nakajima T, Kurabayashi M.	Department of Medicine and Biological Science	Regular ventricular pacing inhibition due to electronic artifact emitted by pulse generator equipped with a self-adjusting sensitivity function.	Heart Rhythm. 2014 Jan;11(1):167-8
146	Inoue H, Atarashi H, Okumura K, Yamashita T, Origasa H, Kumagai N, Sakurai M, Kawamura Y, Kubota I, Matsumoto K, Kaneko Y, Ogawa S, Aizawa Y, Chinushi M, Kodama I, Watanabe E, Koretsune Y, Okuyama Y, Shimizu A, Igawa O, Bando S, Fukatani M, Saikawa T, Chishaki A; J-RHYTHM Registry Investigators	Department of Medicine and Biological Science	Impact of gender on the prognosis of patients with nonvalvular atrial fibrillation.	Am J Cardiol. 2014 Mar 15;113(6):957-62
147	Kaneko Y, Kato T, Nakahara S, Tobiume T, Morishima I, Tanaka K, Nakajima T, Irie T, Kusano KF, Kamakura S, Nagase T, Takayanagi K, Matsumoto K, Kurabayashi M.	Department of Medicine and Biological Science	Characteristics and Catheter Ablation of Focal Atrial Tachycardia Originating From the Interatrial Septum.	Heart Lung Circ. 2015 Mar 24.
148	Kaneko Y, Nakajima T, Irie T, Kurabayashi M.	Department of Medicine and Biological Science	Shortening of retrograde conduction time over slow pathway after atrial stimulation.	Heart Rhythm. 2015 May;12(5):1097-9.
149	Kaneko Y, Horie M, Niwano S, Kusano KF, Takatsuki S, Kurita T, Mitsuhashi T, Nakajima T, Irie T, Hasegawa K, Noda T, Kamakura S, Aizawa Y, Yasuoka R, Torigoe K, Suzuki H, Ohe T, Shimizu A, Fukuda K, Kurabayashi M, Aizawa Y.	Department of Medicine and Biological Science	Electrical storm in patients with brugada syndrome is associated with early repolarization.	Circ Arrhythm Electrophysiol. 2014 Dec;7(6):1122-8
150	Kaneko Y, Nakajima T, Irie T, Ota M, Iijima T, Kurabayashi M.	Department of Medicine and Biological Science	V-A-A-V activation sequence at the onset of a long RP tachycardia: what is the mechanism?	J Cardiovasc Electrophysiol. 2015 Jan;26(1):101-3

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
151	Kaneko Y, Nakajima T, Irie T, Kurabayashi M.	Department of Medicine and Biological Science	Pathology of a lesion ablated from inside the coronary sinus.	J Cardiovasc Electrophysiol. 2014 Oct;25(10):1135-6.
152	Imai M, Nakajima T, Kaneko Y, Niwamae N, Irie T, Ota M, Iijima T, Tange S, Kurabayashi M.	Department of Medicine and Biological Science	Novel KCNQ1 splicing mutation in patients with forme fruste LQT1 aggravated by hypokalemia.	J Cardiol. 2014 Aug;64(2):121-6.
153	Irie T, Kaneko Y, Nakajima T, Ota M, Iijima T, Tamura M, Iizuka T, Tamura S, Saito A, Kurabayashi M.	Department of Medicine and Biological Science	Electroanatomically estimated length of slow pathway in atrioventricular nodal reentrant tachycardia.	Heart Vessels. 2014 Nov;29(6):817-24.
154	Kaneko Y, Nakajima T, Irie T, Igawa O, Iijima T, Ota M, Tamura M, Iizuka T, Tamura S, Saito A, Kurabayashi M.	Department of Medicine and Biological Science	Pseudo-postpacing interval of diastolic potential after entrainment pacing of remote bystander pathway in reentrant ventricular tachycardia.	Heart Vessels. 2014 Sep;29(5):703-8.
155	Kaneko Y, Nakajima T, Irie T, Suzuki F, Ota M, Iijima T, Tamura M, Iizuka T, Tamura S, Saito A, Kurabayashi M.	Department of Medicine and Biological Science	Successful ablation of atypical atrioventricular nodal reentrant tachycardia from a noncoronary sinus of Valsalva.	Int Heart J. 2014;55:84-6.
156	Sano H, Kasama S, Fujimoto S, Toyama T, Takama N, Koitabashi N, Ichikawa S, Suzuki Y, Matsumoto N, Sato Y, Kurabayashi M.	Department of Medicine and Biological Science	Effects of statin therapy on cardiac sympathetic nerve activity and left ventricular remodeling in patients with chronic heart failure: a propensity score-matched analysis.	Medicine (Baltimore). 2014 Dec;93(27):e214
157	Kasama S, Toyama T, Iwasaki T, Sumino H, Kumakura H, Minami K, Ichikawa S, Matsumoto N, Nakata T, Kurabayashi M.	Department of Medicine and Biological Science	Evaluation of cardiac sympathetic nerve activity and aldosterone suppression in patients with acute decompensated heart failure on treatment containing intravenous atrial natriuretic peptide.	Eur J Nucl Med Mol Imaging. 2014 Sep;41(9):1683-91.
158	Kasama S, Toyama T, Iwasaki T, Sumino H, Kumakura H, Minami K, Ichikawa S, Matsumoto N, Sato Y, Kurabayashi M.	Department of Medicine and Biological Science	Effects of oral nicorandil therapy on sympathetic nerve activity and cardiac events in patients with chronic heart failure: subanalysis of our previous report using propensity score matching.	Eur J Nucl Med Mol Imaging. 2014 Jan;41(1):144-54
159	Kumakura H, Fujita K, Kanai H, Araki Y, Hojo Y, Kasama S, Iwasaki T, Ichikawa S, Nakashima K, Minami K.	Department of Medicine and Biological Science	High-sensitivity C-reactive Protein, Lipoprotein(a) and Homocysteine are Risk Factors for Coronary Artery Disease in Japanese Patients with Peripheral Arterial Disease.	J Atheroscler Thromb. 2014
160	Kurabayashi M.	Department of Medicine and Biological Science	Hydrogen sulfide: a new regulator of osteoclastogenesis?	Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2014 Mar;34(3):471-3
161	Manita M, Nakajima T, Kaneko Y, Kurabayashi M.	Department of Medicine and Biological Science	Idiopathic ventricular fibrillation associated with complete right bundle branch block?	Intern Med. 2014;53(6):633-4
162	Matsuo Y, Sandri M, Mangner N, Majunke N, Dähnert I, Schuler G, Kurabayashi M, Möbius-Winkler S.	Department of Medicine and Biological Science	Interventional closure of the left atrial appendage for stroke prevention.	Circ J. 2014;78(3):619-24
163	Okumura W, Nakajima M, Tateno R, Fukuda N, Kurabayashi M	Department of Medicine and Biological Science	Three cases of vasospastic angina that developed following the initiation of corticosteroid therapy.	Intern Med. 2014;53(3):221-5

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
164	Syamsunarno MR, Iso T, Yamaguchi A, Hanaoka H, Putri M, Obokata M, Sunaga H, Koitabashi N, Matsui H, Maeda K, Endo K, Tsushima Y, Yokoyama T, Kurabayashi M.	Department of Medicine and Biological Science	Fatty acid binding protein 4 and 5 play a crucial role in thermogenesis under the conditions of fasting and cold stress.	PLoS One. 2014 Mar 6;9(6):e90825.
165	Taguchi T, Adachi H, Hoshizaki H, Oshima S, Kurabayashi M.	Department of Medicine and Biological Science	Effect of physical training on ventilatory patterns during exercise in patients with heart disease.	J Cardiol. 2015 Apr;65(4):343-8.
166	Takama N, Kurabayashi M.	Department of Medicine and Biological Science	Safety and efficacy of adaptive servo-ventilation in patients with severe systolic heart failure.	J Cardiol. 2014 Apr;63(4):302-7.
167	Ito K.	泌尿器科学	Prostate cancer in Asian men.	Nature Reviews Urology 11(4):197-212
168	Ito K, Fujizuka Y, Ishikura K and Cook B.	泌尿器科学	Next-generation prostate-specific antigen test: precursor form of prostate-specific antigen.	Int J Clin Oncol 19(5):782-792
169	Koike H, Nitta T, Sekine Y, Arai S, Furuya Y, Nomura M, Matsui H, Shibata Y, Ito K, Oyama T and Suzuki K.	泌尿器科	YM155 reverses rapamycin resistance in renal cancer by decreasing survivin.	J Cancer Res Clin Oncol 140(10):1705-1713
170	Suzuki K, Ozono S, Yamaguchi A, Koike H, Matsui H, Nagata M, Takubo T, Miyashita K, Matsushima T and Akaza H.	泌尿器科学	A phase 1 multiple-dose study of orteronel in Japanese patients with castration-resistant prostate cancer.	Cancer Chemother Pharmacol 75(2):373-380
171	Shibata Y, Arai S and Honma S.	泌尿器科	Methodological approach to the intracrine study and estimation of DHEA and DHEA-S using liquid chromatography-tandem mass spectrometry (LC-MS/MS).	J Steroid Biochem Mol Biol 145:193-199
172	Toki S, Motegi S-I, Yamada K, Uchiyama A, Kanai S, Yamanaka M, Ishikawa O.	皮膚科学	Clinical and laboratory features of systemic sclerosis complicated with localized scleroderma.	J Dermatol, 42(3):283-287, 2015
173	Uchiyama A, Yamada K, Ogino S, Yokoyama Y, Takeuchi Y, Udey MC, Ishikawa O, Motegi S-I.	皮膚科学	Protective effect of MFG-E8 after cutaneous ischemia-reperfusion injury.	J Invest Dermatol 135(4):1157-65, 2015
174	Motegi S-I, Toki S, Yamada K, Uchiyama A, Ishikawa O.	皮膚科学	Demographic and clinical features of systemic sclerosis patients with anti-RNA polymerase III antibodies.	J Dermatol 42(2): 189-192, 2015
175	Toki S, Motegi S-I, Ishikawa O.	皮膚科学	Demographic and clinical features of autoimmune thyroid disorder in Japanese patients with systemic sclerosis.	J Dermatol 41(11): 1053-1057, 2014
176	Shimizu A, Kato M, Takeuchi Y, Sano T, Uezato H, Ishikawa O.	皮膚科学、先端医療科	Detection of human papilloma virus in patients with squamous cell carcinoma and the clinical characteristics of HPV-positive cases.	Br J Dermatol 171(4): 779-785, 2014
177	Motegi S-I, Toki S, Yamada K, Uchiyama A, Ishikawa O.	皮膚科学	Elevated plasma homocysteine level is possibly associated with skin sclerosis in a series of Japanese patients with systemic sclerosis.	J Dermatol 41(12): 986-991, 2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
178	Motegi S-I, Okada E, Uchiyama A, Yamada K, Ogino S, Yokoyama Y, Takeuchi Y, Monma F, Suzuki T, Ishikawa O.	皮膚科学	Role of endothelin-1/endothelin receptor signaling in fibrosis and calcification in nephrogenic systemic fibrosis.	Exp Dermatol 23(9): 664-669, 2014
179	Kishi C, Amano H, Suzue K, Ishikawa O.	皮膚科学	Plasmodium berghei infection ameliorates atopic dermatitis-like skin lesions in NC/Nga mice.	Allergy 69(10): 1412-1419, 2014
180	Motegi S-I, Toki S, Hattori T, Yamada K, Uchiyama A, Ishikawa O.	皮膚科学	No association of atherosclerosis with digital ulcers in Japanese patients with systemic sclerosis: Evaluation of carotid intima-media thickness and plaque characteristics.	J Dermatol. 41(7): 604-608, 2014
181	Shimizu A, Nakatani Y, Nakamura T, Jinno-Oue A, Ishikawa O, Boeke JD, Takeuchi Y, Hoshino H.	皮膚科学	Characterization of cytoplasmic DNA complementary to non-retroviral RNA viruses in human cells.	Sci Rep 4: 5074, 2014
182	Uchiyama A, Yamada K, Ogino S, Yokoyama Y, Takeuchi Y, Udey MC, Ishikawa O, Motegi S-I.	皮膚科学	MFG-E8 regulates angiogenesis in cutaneous wound healing.	Am J Pathol 184(7): 1981-1990, 2014
183	Kato M, Shimizu A, Takeuchi Y, Hattori T, Abe M, Amano H, Motegi S-I, Tamura A, Ishikawa O.	皮膚科学	Human papillomaviruses in anogenital epithelial lesions.	Acta Derm Venereol 94(5): 597-599, 2014
184	Motegi S-I, Yokoyama Y, Uchiyama A, Ogino S, Takeuchi Y, Yamada K, Hattori T, Hashizume H, Ishikawa Y, Goto M, Ishikawa O.	皮膚科学	First Japanese case of atypical progeroid syndrome/atypical Werner syndrome with heterozygous LMNA mutation.	J Dermatol 41(12): 1047-1052, 2014
185	Shimizu A, Kato M, Ishikawa O.	皮膚科学	Bowenoid papulosis successfully treated with imiquimod 5% cream.	J Dermatol 41(6): 545-546, 2014
186	Motegi S-I, Uchiyama A, Yamada K, Ogino S, Takeuchi Y, Ishikawa O.	皮膚科学	Blepharochalasis: Possibly associated with matrix metalloproteinases.	J Dermatol 41(6): 536-538, 2014
187	Shimizu A, Kato M, Ishikawa O.	皮膚科学	Pigmented condyloma acuminatum.	J Dermatol 41(4): 337-339, 2014
188	Ishibuchi T, Shimizu A, Kato M, Takeuchi Y, Aoyama K, Yasuda M, Takahashi A, Okada E, Motegi S-I, Amano H, Ishikawa O.	皮膚科学	Detection of human papillomavirus type 56 in giant condyloma acuminatum.	Acta Derm Venereol 94(4): 482-483, 2014
189	Motegi S-I, Uchiyama A, Yamada K, Uehara A, Toki S, Ishikawa O.	皮膚科学	Skin sclerosis with elevation of serum interleukin-6 that is possibly associated with immunoglobulin 4-related disease.	Ann Dermatol 26(6): 766-767, 2014
190	Yasuda M, Igarashi N, Nagai Y, Tamura A, Ishikawa O.	皮膚科学	Primary cutaneous CD4+ small/medium T-cell lymphoma with aggressive clinical course.	Australas J Dermatol 5(4): 304-306, 2014
191	Uchiyama A, Motegi S-I, Yamada K, Amano H, Ishikawa O.	皮膚科学	Primary granulocytic sarcoma of the skin without hematologic disorders.	Ann Dermatol 26(5): 653-655, 2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
192	Kato M, Shimizu A, Ishikawa O.	皮膚科学	Metastatic tuberculous abscess as manifestation of millary tuberculosis.	J Dermatol 41(12): 1117-1118, 2014
193	Ishibuchi H, Shimizu A, Negishi I, Ishikawa O.	皮膚科学	A perianal erythematous plaque: A quiz. Secondary extramammary Paget's disease from adenocarcinoma of the anorectal region.	Acta Derm Venereol 94(4): 492, 2014
194	Motegi S-I, Ishikawa O.	皮膚科学	Methotrexate-induced accelerated nodulosis in a patient with rheumatoid arthritis and scleroderma.	Acta Derm Venereol 94: 357-358, 2014
195	Uchiyama A, Tamura A, Etsuko O, Motegi S-I, Ishikawa O.	皮膚科学	Involuted facial infantile hemangioma with fatty replacement successfully treated with surgery.	J Dermatol 41(5): 453-454, 2014
196	Nobusawa A, Sano T, Negishi A, Yokoo S, Oyama T	病理部	Immunohistochemical staining patterns of cytokeratins 13, 14, and 17 in oral epithelial dysplasia including orthokeratotic dysplasia.	Pathol Int
197	Suzuki S, Kaira K, Ohshima Y, Ishioka NS, Sohda M, Yokobori T, Miyazaki T, Oriuchi N, Tominaga H, Kanai Y, Tsukamoto N, Asao T, Tsushima Y, Higuchi T, Oyama T, Kuwano H	病理部	Biological significance of fluorine-18- α -methyltyrosine (FAMT) uptake on PET in patients with oesophageal cancer.	Br J Cancer
198	Shimizu K, Kaira K, Tomizawa Y, Sunaga N, Kawashima O, Oriuchi N, Tominaga H, Nagamori S, Kanai Y, Yamada M, Oyama T, Takeyoshi I	病理部	ASC amino-acid transporter 2 (ASCT2) as a novel prognostic marker in non-small cell lung cancer.	Br J Cancer
199	Toyoda M, Kaira K, Ohshima Y, Ishioka NS, Shino M, Sakakura K, Takayasu Y, Takahashi K, Tominaga H, Oriuchi N, Nagamori S, Kanai Y, Oyama T, Chikamatsu K	病理部	Prognostic significance of amino-acid transporter expression (LAT1, ASCT2, and xCT) in surgically resected tongue cancer.	Br J Cancer
200	Kato T, Fujii T, Ide M, Takada T, Sutoh T, Morita H, Yajima R, Yamaguchi S, Tsutsumi S, Asao T, Oyama T, Kuwano H	病理部	Effect of long interval between hyperthermochemoradiation therapy and surgery for rectal cancer on apoptosis, proliferation and tumor response.	Anticancer Res
201	Higuchi T, Gohn T, Nagatomo T, Tokiniwa H, Niwa T, Horiguchi J, Oyama T, Takeyoshi I, Hayashi SI.	病理部	Variation in use of estrogen receptor- α gene promoters in breast cancer compared by quantification of promoter-specific messenger RNA.	Clin Breast Cancer
202	Nakajima Y, Okamura T, Gohko T, Satoh T, Hashimoto K, Shibusawa N, Ozawa A, Ishii S, Tomaru T, Horiguchi K, Okada S, Takata D, Rokutanda N, Horiguchi J, Tsushima Y, Oyama T, Takeyoshi I, Yamada M	病理部	Somatic mutations of the catalytic subunit of cyclic AMP-dependent protein kinase (PRKACA) gene in Japanese patients with several adrenal adenomas secreting cortisol.	Endocr J
203	Koike H, Nitta T, Sekine Y, Arai S, Furuya Y, Nomura M, Matsui H, Shibata Y, Ito K, Oyama T, Suzuki K	病理部	YM155 reverses rapamycin resistance in renal cancer by decreasing survivin.	J Cancer Res Clin Oncol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
204	Isoda A, Kaira K, Iwashina M, Oriuchi N, Tominaga H, Nagamori S, Kanai Y, Oyama T, Asao T, Matsumoto M, Sawamura M	病理部	Expression of L-type amino acid transporter 1 (LAT1) as a prognostic and therapeutic indicator in multiple myeloma.	Cancer Sci
205	Hoshikawa S, Sano T, Hirato J, Oyama T, Fukuda T.	病理部	Immunocytochemical analysis of p63 and 34 β E12 in fine needle aspiration cytology specimens for breast lesions: a potentially useful discriminatory marker between intraductal papilloma and ductal carcinoma in situ.	Cytopathology
206	Sakakura K, Takahashi H, Kaira K, Toyoda M, Oyama T, Chikamatsu K.	病理部	Immunological significance of the accumulation of autophagy components in oral squamous cell carcinoma.	Cancer Sci
207	Nitta K, Kashima T, Mayuzumi H, Akiyama H, Miyanaga T, Hirato J, Kishi S	病理部	Animal-type malignant melanoma associated with nevus of Ota in the orbit of a Japanese woman: a case report.	Melanoma Res
208	Sakairi T, Okabe S, Hiromura K, Motegi S, Sakurai N, Ikeuchi H, Kaneko Y, Maeshima A, Hirato J, Nojima Y	病理部	A case of ANCA-negative renal small-vessel vasculitis with tubulointerstitial infiltration of IgG4-positive plasma cells.	Mod Rheumatol
209	Nobusawa S, Hirato J, Yokoo H	病理部	Molecular genetics of ependymomas and pediatric diffuse gliomas: a short review	Brain Tumor Pathol
210	Nobusawa S, Orimo K, Horiguchi K, Ikota H, Yokoo H, Hirato J, Nakazato Y	病理部	Embryonal tumor with abundant neuropil and true rosettes with only one structure suggestive of an ependymoblastic rosette.	Pathol Int
211	Takayama Y, Nobusawa S, Ochiai I, Watanabe H, Ishigame H, Ikota H, Hirato J, Nakayama J, Yokoo H	病理部	Malignant meningioma with adenocarcinoma-like metaplasia: Demonstration of intestinal phenotype.	Neuropathology
212	Okamiya T, Takahashi K, Kamada H, Hirato J, Motoi T, Fukumoto S, Chikamatsu K	病理部	Oncogenic osteomalacia caused by an occult paranasal sinus tumor.	Auris Nasus Larynx
213	Iijima K, Hirato M, Miyagishima T, Horiguchi K, Sugawara K, Hirato J, Yokoo H, Yoshimoto Y	病理部	Microrecording and image-guided stereotactic biopsy of deep-seated brain tumors	J Neurosurg
214	Hoshino H, Obata H, Nakajima K, Mieda R, Saito S.	麻酔科	Anti-hyperalgesic effects of intrathecal bupropion, a dopamine and noradrenaline reuptake inhibitor, in a rat model of neuropathic pain.	Anesth Analg.
215	Kadoi Y, Saito S.	麻酔科	Optimal dose of landiolol for preventing abrupt changes in both cardiac output and middle cerebral artery flow velocity after electroconvulsive therapy	J ECT
216	Kimura M, Obata H, Saito S.	麻酔科	Peripheral nerve injury reduces analgesic effects of systemic morphine via spinal 5-hydroxytryptamine 3 receptors.	Anesthesiology

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
217	Kuroda M, Ohta J, Mita N, Miyoshi S, Kadoi Y, and Saito S.	麻酔科	Notch of the anterior leaflet of the tricuspid valve with severe tricuspid regurgitation.	Anesth Analg.
218	Lee HG, Choi JI, Yoon MH, Obata H, Saito S, Kim WM.	麻酔科	The antiallodynic effect of intrathecal tianeptine is exerted by increased serotonin and norepinephrine in the spinal dorsal horn.	Neurosci Lett.
219	Suto T, Eisenach JC, Hayashida K.	麻酔科	Peripheral nerve injury and gabapentin, but not their combination, impair attentional behavior via direct effects on noradrenergic signaling in the brain.	Pain
220	Hideaki Yashima, Kimihiro Shimizu, Takuya Araki, Tohru Aomori, Yoichi Ohtaki, Toshiteru Nagashima, Yasuaki Enokida, Jun Atumi, Tomonori Nakamura, Izumi Takeyoshi, and Koujirou Yamamoto:	薬剤部	Assessment of DDR2, BRAF, EGFR and KRAS mutation as therapeutic targets in non-adenocarcinoma lung cancer patients.	Molecular and Clinical Oncology
221	Junji Ogawa, Azusa Yokota, Takuya Araki, Tohru Aomori, Tomonori Nakamura, Kojiro Yamamoto and Ichiro Koshiishi	薬剤部	Quantitative evaluation of biliary elimination of gadoxetate, a magnetic resonance imaging contrast agent, via geometrical isomer-specific transporting system in rats.	Biopharmaceutics and Drug Disposition
222	Tohru Aomori, Yukiyooshi Fujita, Kyoko Obayashi, Sato H, Kiyotani K, Katunori Nakamura, and Koujirou Yamamoto	薬剤部	Case report: dose adjustment of warfarin using genetic information and plasma concentration monitoring.	Journal of Clinical Pharmacy and Therapeutics.
223	Amano J, Kuwano H, Yokomise H	第一外科	Erratum to: Thoracic and cardiovascular surgery in Japan during 2011 : Annual report by The Japanese Association for Thoracic Surgery.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2014 Oct;62(10):635.
224	Ando H, Mochiki E, Ohno T, Yanai M, Toyomasu Y, Ogata K, Tabe Y, Aihara R, Nakabayashi T, Asao T, Kuwano H	第一外科	Mechanism of gastrointestinal abnormal motor activity induced by cisplatin in conscious dogs.	World J Gastroenterol. 20(42):15691-702, 2014.
225	Faried A, Arifin MZ, Ishiuchi S, Kuwano H, Yazawa S	第一外科	Enhanced expression of proapoptotic and autophagic proteins involved in the cell death of glioblastoma induced by synthetic glycans.	J Neurosurg. 2014 Jun;120(6):1298-308.
226	Fujii T, Morita H, Sutoh T, Takada T, Tsutsumi S, Kuwano H	第一外科	Arteriovenous malformation detected by small bowel endoscopy.	Case Rep Gastroenterol. 8(2):324-8, 2014.
227	Fujii T, Morita H, Yamaguchi S, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H	第一外科	A rare case of granular cell tumor of the anal region: diagnostic difficulty to masses in the anal area.	Int Surg. 99(1):45-7, 2014.
228	Fujii T, Yajima R, Hirakata T, Miyamoto T, Fujisawa T, Tsutsumi S, Yanagita Y, Iijima M, Kuwano H	第一外科	Impact of the prognostic value of vascular invasion, but not lymphatic invasion, of the primary tumor in patients with breast cancer.	Anticancer Res. 34(3):1255-9, 2014.
229	Fujii T, Yajima R, Takada T, Sutoh T, Morita H, Yamaguchi S, Tsutsumi S, Kuwano H	第一外科	Serum albumin and prealbumin do not predict recurrence in patients with breast cancer.	Anticancer Res. 34(7):3775-9, 2014.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
230	Fujii T, Yajima R, Morita H, Yamaguchi S, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H	第一外科	FDG-PET/CT of schwannomas arising in the brachial plexus mimicking lymph node metastasis:report of two cases.	World J Surg Oncol. 12:309, 2014.
231	Fukuchi M, Sakurai S, Kogure T, Naitoh H, Kuwano H	第一外科	Immunoglobulin G4-Related Retroperitoneal Fibrosis Treated with Hochuekkito, a Kampo Medicine, following Steroid Treatment.	Case Rep Gastroenterol. 8(2):193-8, 2014.
232	Honjo H, Kumagai Y, Ishiguro T, Imaizumi H, Ono T, Suzuki O, Ito T, Haga N, Kuwabara K, Sobajima J, Kumamoto K, Ishibashi K, Baba H, Sato O, Ishida H, Kuwano H	第一外科	Heterotopic mesenteric ossification after a ruptured abdominal aortic aneurism: case report with a review of literatures.	Int Surg. 99(4):479-84, 2014.
233	Kiriyama S, Naitoh H, Fukuchi M, Fukasawa T, Saito K, Tabe Y, Yamauchi H, Yoshida T, Kuwano H	第一外科	Evaluation of Pharyngeal Function between No Bolus and Bolus Propofol Induced Sedation for Advanced Upper Endoscopy.	Diagn Ther Endosc. 2014;2014:248097.
234	Kiriyama S, Naitoh H, Kuwano H	第一外科	Propofol sedation during endoscopic treatment for early gastric cancer compared to midazolam.	World J Gastroenterol. 20(34):11985-90, 2014.
235	19. Kogure K, Kojima I, Kuwano H, Matsuzaki T, Yorifuji H, Takata K, Makuuchi M	第一外科	Reconfirmation of the anatomy of the left triangular ligament and the appendix fibrosa hepatis in human livers, and its implication in abdominal surgery.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 21(12):856-63, 2014.
236	20. Kosaka T, Mogi A, Yamaki E, Miyazaki T, Kuwano H	第一外科	Surgical Resection of a Solitary Pulmonary Metastasis from Basaloid Squamous Cell Carcinoma of the Esophagus: A Case Report.	Ann Thorac Cardiovasc Surg. Suppl:646-9, 2014.
237	Kosaka T, Yamaki E, Mogi A, Kuwano H	第一外科	A case of lung adenocarcinoma with postoperative recurrence of multiple bone metastases that showed a gradual complete response to combined administration of erlotinib and zoledronic acid.	Tumori. 100(2):e45-8, 2014.
238	Kosaka T, Yamaki E, Tanaka S, Mogi A, Kuwano H	第一外科	Preoperative 18F-Fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography can Predict the Tumor Malignancy of Small Peripheral Lung Cancer.	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 20:968-73, 2014.
239	Kubo N, Saito R, Hamano K, Nagasawa M, Aoki F, Takei I, Umezawa K, Kuwano H, Kojima I	第一外科	Conophylline suppresses hepatic stellate cells and attenuates thioacetamide-induced liver fibrosis in rats.	Liver Int. 34(7):1057-67, 2014.
240	Kuwano H, Tsuchiya T, Murayama T, Sano A, Nagayama K, Yoshida Y, Murakawa T, Nakajima J	第一外科	Outcomes of combined modality therapy for patients with stage III or IV mediastinal malignant germ cell tumors.	Surg Today. 2014 Mar;44(3):499-504.
241	Masuda M, Kuwano H, Okumura M, Amano J, Arai H, Endo S, Doki Y, Kobayashi J, Motomura N, Nishida H, Saiki Y, Tanaka F, Tanemoto K, Toh Y, Yokomise H	第一外科	Thoracic and cardiovascular surgery in Japan during 2012 Annual report by The Japanese Association for Thoracic Surgery.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 62:734-64, 2014. (These authors contributed equally to the work.) [Erratum] Gen Thorac
242	Mochiki E, Fukuchi M, Ogata K, Ohno T, Ishida H, Kuwano H	第一外科	Postoperative functional evaluation of gastric tube after laparoscopic proximal gastrectomy for gastric cancer.	Anticancer Res. 2014 Aug;34(8):4293-8.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
243	Mogi A, Itoh T, Tanaka S, Kuwano H	第一外科	Rare case of lung abscess caused by a swallowed denture.	Ann Thorac Surg. 97(4):1423-5, 2014.
244	Mogi A, Yamaki E, Kosaka T, Asao T, Kuwano H	第一外科	Thoracoscopic wedge resection through a single incision using a thin puncture device.	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 20(3):198-201, 2014.
245	Naitoh H, Fukasawa T, Fukuchi M, Kiriyaama S, Tabe Y, Yamauchi H, Suzuki M, Yoshida T, Sakurai S, Kuwano H	第一外科	Intrahepatic biliary dilatation caused by a small simple hepatic cyst: report of a case.	Int Surg. 99(6):753-6, 2014.
246	Naitoh H, Fukuchi M, Kiriyaama S, Fukasawa T, Tabe Y, Yamauchi H, Yoshida T, Saito K, Hagiwara K, Kuwano H	第一外科	Recurrent, spontaneous esophageal ruptures associated with antiphospholipid antibody syndrome: report of a case.	Int Surg. 99(6):842-5, 2014.
247	Nakajima M, Domeki Y, Satomura H, Takahashi M, Sugawara A, Muroi H, Sasaki K, Yamaguchi S, Miyazaki T, Kuwano H, Kato H	第一外科	Salvage lymphadenectomy for recurrent esophageal cancer after chemoradiotherapy.	Int Surg. 99(4):452-7, 2014.
248	Nakajima M, Satomura H, Takahashi M, Muroi H, Kuwano H, Kato H	第一外科	Effectiveness of Sternocleidomastoid Flap Repair for Cervical Anastomotic Leakage after Esophageal Reconstruction.	Dig Surg. 31(4-5):306-11, 2014.
249	Nakazawa N, Fukuchi M, Sakurai S, Naitoh H, Kiriyaama S, Fukasawa T, Tabe Y, Yamauchi H, Suzuki M, Yoshida T, Kuwano H	第一外科	Mucosal Esophageal Squamous Cell Carcinoma With Intramural Gastric Metastasis Invading Liver and Pancreas: A Case Report.	Int Surg. 99(4):458-62, 2014.
250	Ogata K, Mochiki E, Ojima H, Haga N, Fukuchi M, Aihara R, Ando H, Uchida N, Toyomasu Y, Suzuki M, Kimura A, Kogure N, Yokobori T, Ohno T, Kuwano H	第一外科	A multicenter long-term study of imatinib treatment for Japanese patients with unresectable or recurrent gastrointestinal stromal tumors.	J Surg Oncol. 110(8):942-6, 2014.
251	Ojima H, Sano A, Fukai Y, Soda M, Kuwano H	第一外科	Video-assisted thoracic surgery for esophagus for treating locally recurrent gastric cancer at the anastomotic site.	Med Princ Pract. 23(2):180-2, 2014.
252	Otake S, Suzuki N, Takahashi A, Toki F, Nishi A, Yamamoto H, Kuroiwa M, Kuwano H	第一外科	Histological analysis of appendices removed during interval appendectomy after conservative management of pediatric patients with acute appendicitis with an inflammatory mass or abscess.	Surg Today. 44(8):1400-5, 2014.
253	Sakai M, Wada W, Kimura S, Okada A, Hirakata T, Onozato R, Saito K, Morohara K, Osawa H, Katayama K, Yasuda N, Tanaka S, Kuwano H	第一外科	Single-incision laparoscopic surgery for a small-intestinal gastrointestinal stromal tumor: report of a case	Int Surg. 99(4):463-6, 2014.
254	Sakai M, Yokobori T, Nakajima M, Fukuchi M, Kato H, Higuchi T, Tsushima Y, Kuwano H	第一外科	L-[3-18F]- α -Methyltyrosine Uptake by Lymph Node Metastasis Is a Predictor of Complete Response to CRT in Esophageal Cancer.	Anticancer Res. 34(12): 7473-7, 2014.
255	Sato H, Suzuki Y, Ide M, Katoh T, Noda SE, Ando K, Oike T, Yoshimoto Y, Okonogi N, Mimura K, Asao T, Kuwano H, Nakano T	第一外科	HLA class I expression and its alteration by preoperative hyperthermo-chemoradiotherapy in patients with rectal cancer.	PLoS One. Sep 26;9(9):e108122, 2014.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
256	Sawada Y, Komori H, Tsunoda Y, Shimomura M, Takahashi M, Baba H, Ito M, Saito N, Kuwano H, Endo I, Nishimura Y, Nakatsura T:	第一外科	Identification of HLA-A2 or HLA-A24-restricted CTL epitopes for potential HSP105-targeted immunotherapy in colorectal cancer.	Oncol Rep. 2014 Mar;31(3):1051-8.
257	Sohda M, Sakai M, Honjyo H, Hara K, Ozawa D, Suzuki S, Tanaka N, Yokobori T, Miyazaki T, Fukuchi M, Higuchi T, Tsushima Y, Kuwano H	第一外科、放射線診断核医学	Use of pre-treatment 18F-FAMT PET to predict patient survival in squamous cell carcinoma of the esophagus treated by curative surgery.	Anticancer Res. 34(7):3623-8, 2014.
258	Sohda M, Ojima H, Sano A, Fukai Y, Kuwano H	第一外科	Primary esophageal adenocarcinoma with distant metastasis to the skeletal muscle.	Int Surg. 99(5):650-5, 2014.
259	Sugimachi K, Yokobori T, Iinuma H, Ueda M, Ueo H, Shinden Y, Eguchi H, Sudo T, Suzuki A, Maehara Y, Mori M, Mimori K	第一外科	Aberrant expression of plastin-3 via copy number gain induces the epithelial-mesenchymal transition in circulating colorectal cancer cells.	Ann Surg Oncol. 21(11):3680-90, 2014. (These authors contributed equally to the work.)
260	Suzuki H, Fujii T, Asao T, Tsutsumi S, Wada S, Araki K, Kubo N, Watanabe A, Tsukagoshi M, Kuwano H	第一外科	Extracapsular Lymph Node Involvement is Associated With Colorectal Liver Metastases and Impact Outcome After Hepatectomy for Colorectal Metastases.	World J Surg. 38(8):2079-88, 2014.
261	Suzuki H, Shimura T, Mochida Y, Wada S, Araki K, Kubo N, Watanabe A, Kuwano H	第一外科	To stent or not to stent hepaticojejunostomy-analysis of risk factors for postoperative bile leaks and surgical complication.	Hepato-Gastroenterology. 61:920-6, 2014.
262	Suzuki M, Hatanaka M, Fujino J, Igarashi A, Hasegawa M, Tahara K, Ishimaru Y, Ikeda H	第一外科	Safety and efficacy of selective sac extraction method of inguinal hernia repair in children: results of a prospective study.	Pediatr Surg Int. 30(5):499-502, 2014.
263	Tajima K, Uchida N, Azuma Y, Okada T, Sasamoto H, Yokoo H, Kuwano H	第一外科	Surgical Resection of a Solitary Plasmacytoma Originating in a Rib.	Ann Thorac Cardiovasc Surg. Suppl: 609-12, 2014.
264	Tanaka A, Yoshino I, Makino S, Katsumata N, Takahashi K, Kuwano H, Maehara Y, Nishiyama M	第一外科	Questionnaire-based survey on chemotherapy-induced anemia.	Int J Clin Oncol. Jun;19(3):411-20, 2014.
265	Tomizawa K, Usami N, Fukumoto K, Sakakura N, Fukui T, Ito S, Hatooka S, Kuwano H, Mitsudomi T, Sakao Y	第一外科	Risk assessment of perioperative mortality after pulmonary resection in patients with primary lung cancer: the 30- or 90-day mortality.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 62(5):308-13, 2014.
266	Tsutsumi S, Fujii T, Yamaguchi S, Suto T, Yajima R, Morita H, Kato T, Asao T, Kuwano H	第一外科	Addition of Bevacizumab to First-Line Chemotherapy for Metastatic Colorectal Cancer.	Hepato-Gastroenterology. 61:633-7, 2014.
267	Watanabe A, Suzuki H, Yokobori T, Tsukagoshi M, Altan B, Kubo N, Suzuki S, Araki K, Wada S, Kashiwabara K, Hosouchi Y, Kuwano H	第一外科	Stathmin1 regulates p27 expression, proliferation and drug resistance, resulting in poor clinical prognosis in cholangiocarcinoma.	Cancer Sci. 105(6):690-6, 2014.
268	Yamaguchi S, Ogata H, Katsumata D, Nakajima M, Fujii T, Tsutsumi S, Asao T, Sasaki K, Kuwano H, Kato H	第一外科	MUTYH-associated colorectal cancer and adenomatous polyposis.	Surg Today. 44(4):593-600, 2014.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
269	Yajima R, Fujii T, Yanagita Y, Fujisawa T, Miyamoto T, Hirakata T, Tsutsumi S, Iijima M, Kuwano H.	第一外科	Prognostic value of extracapsular invasion of axillary lymph nodes combined with peritumoral vascular invasion in patients with breast cancer.	Ann Surg Oncol. 2015 Jan;22(1):52-8, 2015
270	Yasui H, Muro K, Shimada Y, Tsuji A, Sameshima S, Baba H, Satoh T, Denda T, Ina K, Nishina T, Yamaguchi K, Esaki T, Tokunaga S, Kuwano H, Boku N, Komatsu Y, Watanabe M, Hyodo I, Morita S, Sugihara K.	第一外科	A phase 3 non-inferiority study of 5-FU/I-leucovorin/irinotecan (FOLFIRI) versus irinotecan/S-1 (IRIS) as second-line chemotherapy for metastatic colorectal cancer: updated results of the FIRIS study.	J Cancer Res Clin Oncol. Jan;141(1):153-60, 2015
271	Suto T, Yokobori T, Yajima R, Morita H, Fujii T, Yamaguchi S, Altan B, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H.	第一外科	MicroRNA-7 expression in colorectal cancer is associated with poor prognosis and regulates cetuximab sensitivity via EGFR regulation.	Carcinogenesis. Mar;36(3):338-45, 2015
272	Miyazaki T, Sohda M, Tanaka N, Suzuki S, Ieta K, Sakai M, Sano A, Yokobori T, Inose T, Nakajima M, Fukuchi M, Ojima H, Kato H, Kuwano H.	第一外科	Phase I/II study of docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil combination chemoradiotherapy in patients with advanced esophageal cancer.	Cancer Chemother Pharmacol. Mar;75(3):449-55, 2015
273	Yamazaki K, Kuwano H, Ojima H, Otsuji T, Kato T, Shimada K, Hyodo I, Nishina T, Shirao K, Esaki T, Ohishi T, Denda T, Takeuchi M, Boku N.	第一外科	A randomized phase II study of combination therapy with S-1, oral leucovorin, and oxaliplatin (SOL) and mFOLFOX6 in patients with previously untreated metastatic colorectal cancer.	Cancer Chemother Pharmacol. Mar;75(3):569-77, 2015.
274	Kuwano H, Nishimura Y, Oyama T, Kato H, Kitagawa Y, Kusano M, Shimada H, Takiuchi H, Toh Y, Doki Y, Naomoto Y, Matsubara H, Miyazaki T, Muto M, Yanagisawa	第一外科	A. Guidelines for Diagnosis and Treatment of Carcinoma of the Esophagus April 2012 edited by the Japan Esophageal Society.	Esophagus. 2015;12:1-30, 2015.
275	Kimura A, Masuda N, Haga N, Ito T, Otsuka K, Takita J, Satomura H, Kumakura Y, Kato H, Kuwano H.	第一外科	Gastrojejunostomy for pyloric stenosis after acute gastric dilatation due to overeating.	World J Gastroenterol. Feb 7;21(5):1670-4, 2015.
276	Muroi H, Nakajima M, Satomura H, Takahashi M, Yamaguchi S, Sasaki K, Yokobori T, Miyazaki T, Kuwano H, Kato H.	第一外科	Low PHLDA3 expression in oesophageal squamous cell carcinomas is associated with poor prognosis.	Anticancer Res. Feb;35(2):949-54, 2015.
277	Yanoma T, Fukuchi M, Sakurai S, Shoji H, Naitoh H, Kuwano H.	第一外科	Granular cell tumor of the esophagus with elevated preoperative serum carbohydrate antigen 19-9: a case report.	Int Surg. Feb;100(2):365-9, 2015.
278	Ohara N, Kaneko M, Kuwano H, Ebe K, Fujita T, Nagai T, Furukawa T, Aizawa Y, Kamoi K.	第一外科	Fulminant type 1 diabetes mellitus and fulminant viral myocarditis. A case report and literature review.	Int Heart J. 56(2):239-44, 2015.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
279	Yamauchi H, Sakurai S, Nakazawa N, Yoshida T, Tabe Y, Saitoh K, Fukasawa T, Kiriyaama S, Naitoh H, Kuwano H	第一外科	A case of mixed adenoneuroendocrine carcinoma of the stomach with focal intestinal metaplasia and hypergastrinemia.	Int Surg. Mar;100(3):562-7, 2015.

計279件

(注) 1 H26年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断するものを記載。

2 対象とするのは、筆頭著者の所属先が本院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものとした。ただし、実態上、大学の講座等と診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めた(筆頭著者が本院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先(名称は当時のもの)をすべて記載。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載。

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> 手順書の主な内容 ※国による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を考慮しつつ、手順書等の整備に向けた準備を進めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付した。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> 規定の主な内容 対象者の範囲，対象事項，管理委員会の設置，調査方法，審議・勧告及び決定の手續，研修の実施，情報公開等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年5回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容 研究における不正防止について	